島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報 29

―令和２年度―

2021 年

島根県教育委員会

史跡出雲国府跡 37 号建物（南東から）

朝酌矢田Ⅱ遺跡　奈良時代の護岸状石敷き遺構（東から）

目　次

埋蔵文化財調査センターの概要…… 1
Ⅰ　令和２年度の調査体制…… 3
　1　組織…… 3
　2　職員一覧…… 3
Ⅱ　埋蔵文化財活用事業…… 4
　1　埋蔵文化財調査センター講演会…… 4
　2　現地説明会…… 4
　3　文化財講座『いにしえ倶楽部』…… 4
　4　「ふるさと島根の遺物」貸出事業…… 4
　5　心に残る文化財こども塾…… 5
　6　職場体験学習等の受け入れ…… 5
　7　教員のための博物館の日…… 5
　8　見学等の案内…… 6
　9　職員の講師派遣…… 6
　10　その他…… 7
　11　資料の貸出・調査等…… 7
Ⅲ　研究事業…… 11
Ⅳ　研修事業…… 11
　1　埋蔵文化財基礎研修…… 11
　2　埋蔵文化財専門研修…… 11
Ⅴ　会議・講習会参加…… 12
Ⅵ　発掘調査事業…… 13
　1　一般国道９号（大田静間道路）改築工事に伴う発掘調査 …… 14
　2　一般国道９号（静間仁摩道路）改築工事に伴う発掘調査 …… 15
　3　一般国道９号（福光浅利道路）改築工事に伴う発掘調査 …… 16
　4　一級河川江の川直轄河川改修事業（森原地区）に伴う発掘調査…… 17
　5　斐伊川水系大橋川河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査…… 18
　6　大規模民間開発に伴う発掘調査…… 19
Ⅶ　学術調査ほか…… 20
　1　史跡出雲国府跡…… 20
　2　山代原古墳…… 21
　3　考古資料基礎調査研究（墓制調査）…… 22
　4　考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）…… 22
　5　保存処理・理化学分析…… 23
　6　試掘確認・分布調査…… 26

Ⅷ　県内発掘調査一覧……32
Ⅸ　刊行物……35
　1　ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）……35
　2　報告書……35
　3　パンフレット……35

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝の出雲大社本殿、神魂神社本殿、松江城天守、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では 1980 年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992 年（平成 4）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査および研究
- 出土遺物の分析（軟Ｘ線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日

1992 年（平成 4） 4 月 1 日

所在地

〒690-0131　島根県松江市打出町 33 番地

電話：0852-36-8608　　FAX：0852-36-8025

Ｅメール：maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページ：https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/

施設の構造

収蔵庫棟：鉄骨造二階建　1990 年（平成 2）６月竣工　建面積 896㎡

本館棟：鉄筋コンクリート造平屋建　1992 年（平成 4）３月竣工　建面積 2,911㎡

ブロアー庫：鉄筋コンクリート造平屋建　1992 年（平成 4）３月竣工　建面積 11㎡

いにしえ学習館棟：鉄骨造三階建　1997 年（平成 9）３月竣工　建面積 1,317㎡

施設と規模

本 館 棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡
	所長室	25㎡		小計	1,620㎡
	事務室・調査研究室	315㎡	いにしえ学習館棟	体験学習室	95㎡
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼務写場）	86㎡
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡
	理化学分析室	35㎡		小計	3,696㎡
	鉄器処理室	35㎡	ブロア庫	ブロア庫	11㎡
	木器処理室	35㎡		小計	11㎡
	水洗室	70㎡			
	その他	973㎡		延床面積合計	7,877㎡
	小計	2,550㎡	敷地面積		20,980.61㎡

Ⅰ　令和２年度の調査体制

1　組織

島根県埋蔵文化財調査センター

- 所長
  - 総務課長 ― 総務課 ― 予算経理、契約事務、施設管理
  - 高速道路調査推進スタッフ ― 山陰道整備関係等事業の調整、試掘・分布調査
    - 調査事業（一般国道９号（大田静間道路・静間仁摩道路・福光浅利道路）改築事業）
  - 管理課長 ― 管理課 ― 調査事業の調整、発掘調査の技術的統括・安全管理、発掘調査工程管理、普及活用、資料管理、研修、研究事業の総括
  - 調査第１課長
    - 調査第１係 ― 調査事業（民間大規模開発事業）
    - 調査第２係 ― 調査事業（一般国道９号（三隅益田道路）改築事業、江の川改修事業）
  - 調査第２課長
    - 風土記の丘地内発掘調査事業
    - 調査事業（大橋川改修事業）

2　職員一覧

職　名	氏　名
所　長	椿　真治
総務課	
課　長	和田　諭
企画員	藤原由美
会計年度任用職員一般事務	三島美葉子
	岩成真代
	大澤康佑（～11月）
	大西　健（２月～）
	大前孝之
高速道路調査推進スタッフ	
調整監	角田徳幸
企画幹	大庭俊次
	宮本正保
	深田　浩
主幹	中川　寧
会計年度任用職員調査員	松山智弘
同　調査補助員	糸賀伸文
	岩橋康子
	飯塚由起
	阿部智子
管理課	
課　長	守岡正司
企画員（兼）	澤田正明
企画員	伊藤　智
会計年度任用職員調査補助員	上山晶子

職　名	氏　名
調査第１課	
課　長 調査第１係長（事取）	林　健亮
主任主事	今福拓哉
主事	鈴木七奈
会計年度任用職員調査員	柳浦俊一
同　調査補助員	片寄雪美
	米田美江子
調査第２係長	東森　晋
主任主事	真木大空
会計年度任用職員調査員	園山　薫
同　調査補助員	福田市子
	幸村康子
	渡邊真二
調査第２課	
課　長	岩橋孝典
主任主事	吉松優希
	岩崎孝平
文化財保護主任	廣江耕史
会計年度任用職員調査員	阿部賢治
同　調査補助員	樋野千晴
	角森玲子
	原　英誉
	大田晴美

Ⅱ　埋蔵文化財活用事業

当センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

1　埋蔵文化財調査センター講演会

当センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講演会は見送った。

2　現地説明会

新型コロナウィルス感染症拡大防止対策を行った上、調査中の遺跡の一般公開、調査地近隣自治会への調査成果報告会を行った。

遺跡名	開催日	場所	参加者	備考
山代原古墳	令和２年６月 21 日（土）	松江市山代町	38 名	地元自治会向け
上ノ谷遺跡	令和２年８月 22 日（土）	飯南町下来島	20 名	地元自治会向け
半明遺跡	令和２年８月 29 日（土）	大田市長久町	17 名	地元自治会向け
森原下ノ原遺跡	令和２年 10 月 17 日（土）	江津市松川町	80 名	
高丸遺跡	令和２年 10 月 25 日（日）	江津市黒松町	90 名	
朝酌矢田Ⅱ遺跡	令和２年 11 月 14 日（土）	松江市朝酌町	17 名	地元自治会向け
出雲国府跡	令和２年 11 月 14 日（土）	松江市大草町	34 名	地元自治会向け
朝酌矢田Ⅱ遺跡	令和２年 12 月 26 日（土）	松江市朝酌町	40 名	
		合計	336 名	

3　文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、調査の成果や当センターで保管している出土品などを活用して開催するイベント。毎年、８月に子供対象の「夏休み子供スペシャル」を１回、一般の方対象で講座形式の「いにしえ倶楽部連続講座」を２回程度実施している。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて見送った。

代替案として、令和３年２月から３月にかけて、山陰中央新報に「しまねの発掘最前線」と題する今年度の発掘調査を４回にわたって紹介した。

第１回	上ノ谷遺跡
第２回	森原下ノ原遺跡
第３回	朝酌矢田Ⅱ遺跡
第４回	出雲国府跡

4　「ふるさと島根の遺物」貸出事業

当センターが保管している土器や石器を学校等へ貸出、地域の歴史や文化財を学ぶための教材としている。今年度は希望がなく、貸出は実施しなかった。

5　心に残る文化財こども塾

県内の小・中学校および特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材として、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業を行った。

番号	事業名	学校名	開催日	対象学年	参加人数	テーマ・主題等	体験活動等
1	心に残る文化財子ども塾	雲南市立佐世小学校	6月9日（火）	6	15人	古代の佐世（佐世・大東・雲南市）と勾玉づくり	勾玉作り
2	心に残る文化財子ども塾	奥出雲町立布勢小学校	6月12日（金）	6	9人	古墳時代の生活に思いを寄せ、火おこし体験や埴輪づくりをしよう	はにわ作り 火おこし
3	心に残る文化財子ども塾	出雲市立東小学校	6月22日（月）	6	15人	古代人（縄文人）の生活を知ろう　～土器作り体験～	土器づくり
4	心に残る文化財子ども塾	大田市立久屋小学校	6月23日（火）	6	7人	昔の人が使っていた土器を作って､古代の人々の文化や技術を知ろう	土器づくり
5	心に残る文化財子ども塾	松江市立乃木小学校	6月25日（木）	6	176人	国史跡田和山遺跡の現地を踏査し、遺跡の特徴について体験的、専門的に学び理解を深める	遺跡見学
6	心に残る文化財子ども塾	松江市立来待小学校	6月25日（木）	6	19人	古代人の暮らしを体験してみよう！　～ 宍道町の遺跡と勾玉作り ～	勾玉作り
7	心に残る文化財子ども塾	浜田市立波佐小学校	7月1日（水）	5・6	5人	浜田・波佐地区の歴史と土器づくり	土器づくり
8	心に残る文化財子ども塾	出雲市立窪田小学校	7月1日（水）	5・6	15人	古代の人々の生活にふれよう　～勾玉づくりに挑戦～	勾玉作り
9	心に残る文化財子ども塾	出雲市立荒木小学校	7月3日（金）	6	65人	古代の人々の生活にふれよう　～勾玉づくりに挑戦しよう～	勾玉作り
10	心に残る文化財子ども塾	浜田市立原井小学校	7月6日（月）	6	36人	埴輪作り体験と浜田市の歴史	はにわ作り
11	心に残る文化財子ども塾	出雲市立灘分小学校	7月7日（火）	6	21人	古代の人々の生活にふれよう　～勾玉作りに挑戦～	勾玉作り
12	心に残る文化財子ども塾	浜田市立松原小学校	7月8日（水）	6	21人	古代の人々の生活に触れよう　～勾玉づくりに挑戦～	勾玉作り
13	心に残る文化財子ども塾	松江市立持田小学校	7月8日（水）	6	35人	古代の遺跡・建造物から知る古代の人々の思い	遺跡見学
14	心に残る文化財子ども塾	松江市立法吉小学校	7月9日（木）	6	86人	「はにわの世界を知ろう」	はにわ作り
15	心に残る文化財子ども塾	島根県立出雲養護学校みらい分教室	7月14日（火）	小	10人	古代人の暮らしをみつめる　～土笛づくりを通して見える古代人の祈り～	土笛作り
16	心に残る文化財子ども塾	浜田市立第三中学校	7月14日（火）	1～3 （特別支援学級）	8人	古代の人々の生活について知ろう　～勾玉づくり、火おこし体験に挑戦しよう～	勾玉作り 火おこし
17	心に残る文化財子ども塾	益田市立安田小学校	7月14日（火）	6	40人	古代人の生活にふれてみよう　～勾玉づくりに挑戦～	勾玉作り
18	心に残る文化財子ども塾	奥出雲町立三沢小学校	9月1日（火）	5・6	6人	古代人の生活に触れてみよう	土器づくり
19	心に残る文化財子ども塾	安来市立赤屋小学校	9月1日（火）	5・6	16人	古代人の生活に触れてみよう	土器づくり
20	心に残る文化財子ども塾	浜田市立旭小学校	9月24日（木）	6	22人	古墳時代の浜田	勾玉作り
21	心に残る文化財子ども塾	浜田市立今福小学校	10月5日（月）	6	10人	ふるさとの歴史を知ろう	資料館見学
22	心に残る文化財子ども塾	島根県立浜田ろう学校	10月25日（水）	4～6	4人	「歴史を感じよう　～勾玉づくり～」	勾玉作り

合計22校　のべ参加児童生徒641人

6　職場体験学習等の受け入れ

学校および希望者からの依頼があった場合、インターンシップの学生を受け入れてきたが、今年度は希望がなく実施しなかった。

7　教員のための博物館の日

当センターでは県内小中学校教員等を対象とし､身近な地域に根ざした学習の創造に資するため、地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を、島根県立古代出雲歴史博

物館と共催で年１回開催している。今年度もこれまでと同様に「教員のための博物館の日」として、島根県立古代出雲歴史博物館と共催で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

代替案として、「教員のための博物館月間」を実施した。８月一ヶ月間を実施期間として、事前申込みをした教員は古代出雲歴史博物館観覧料を無料とし、常設展図録、ミュージアムスクールパンフレット等の博学連携事業の資料を進呈した。

８　見学等の案内

当センターでは展示室は開庁時に開放し見学受け入れを行っているほか、学校や各種団体等より事前申し込みがあった際は整理作業や収蔵状況等の見学案内、古代体験活動、隣接する古墳の丘古曽志公園の案内を行っている。

埋文センター見学案内

月日	見学者（団体）	時間	人数	内容
１月 18 日	仁万まちづくりセンター職員ほか	120 分	６名	展示室見学
３月４日	邑南町立矢上小学校	270 分	30 名	勾玉作り・遺跡見学
		合計	36 名	

９　職員の講師派遣

各種団体等からの依頼を受け講演会や古代体験学習等への職員派遣を行った。

月日	内容	場所	派遣依頼者	講師
５月 20 日	「岩瀧寺跡発掘調査」指導	岩瀧寺跡	江津市教育委員会教育長	守岡正司
６月１日～９月 30 日、10 月１日～３月 31 日	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」講師	島根大学ほか	島根大学生物資源科学部長	角田徳幸
６月 26 日	来島公民館事業「たたらを学ぼう」	来島公民館	来島公民館館長	角田徳幸
６月 30 日	菅谷たたら山内とその周辺におけるたたら製鉄の比較研究	雲南市吉田町ほか	公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団代表理事	角田徳幸
７月 11 日～３月 31 日	雲南市たたら文化伝道師認定制度策定委員会　委員	雲南市役所ほか	雲南市たたらプロジェクト会議会長	角田徳幸
７月 22 日～３月 31 日	古代出雲プロジェクトセンター共同研究員	島根大学ほか	島根大学法文学部長	角田徳幸
８月 28 日～３月 31 日	山陰研究プロジェクト「既掘考古資料の集成検討及び一括資料群の再検討による山陰地域社会の動態的研究」	島根大学ほか	島根大学法文学部長	今福拓哉
８月 28 日～３月 31 日	山陰研究プロジェクト「既掘考古資料の集成検討及び一括資料群の再検討による山陰地域社会の動態的研究」	島根大学ほか	島根大学法文学部長	真木大空
10 月２日	「城山古墳三次元測量」指導	城山古墳	大田市教育委員会教育長	岩崎孝平
10 月８日	「百塚 88 号墳 3D 測量」指導	百塚 88 号墳	米子市文化財団理事長	岩崎孝平
10 月 16 日	「地域博物館へのいざない」講師	島根大学	島根大学長	角田徳幸
10 月 28 日	第２回出雲市文化財保護審議会	出雲弥生の森博物館	出雲市長	角田徳幸
11 月４日	菅谷たたら山内とその周辺におけるたたら製鉄の比較研究	テクノアークしまね	公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団代表理事	角田徳幸
11 月５日	まつえ市民大学ふるさと発見・探求合同講座「"たたら製鉄 " 像を見直す」	松江市市民活動センター	まつえ市民大学学長	角田徳幸
11 月 13 日	「勾玉づくり体験」講師	松江市立鹿島東小学校	松江市立鹿島東小学校 PTA	守岡正司 伊藤　智
11 月 18 日	「遺跡見学及び勾玉づくり体験」講師	古墳の丘古曽志公園	松江市立古江小学校校長	伊藤　智
12 月４日	「たたらの歴史を学ぶ　古代・中世の鉄生産」講師	雲南市役所	雲南市たたらプロジェクト会議会長	角田徳幸
12 月 12 日	「鉄生産の始まりと展開」講師	岡山県立美術館ホール	岡山県古代吉備文化財センター所長	角田徳幸
12 月 24 日	古代出雲文化フォーラムⅧに関する第２回打合せ	島根大学	島根大学理事・副学長	角田徳幸
１月 16 日	「考古学講座第１回」講師	広島県立歴史博物館	広島県立歴史博物館長	角田徳幸
２月５日	「古代出雲文化フォーラムⅧ」講師	島根大学	島根大学長	角田徳幸

月日	内容	場所	派遣依頼者	講師
2月10日～2月13日	「考古学特論E」講師	島根大学	島根大学法文学部長	角田徳幸
3月4日	第20回史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡整備検討委員会・調査指導委員会	多伎文化伝習館	出雲市長	角田徳幸
3月4日	「勾玉づくり体験及び遺跡見学」講師	島根県埋蔵文化財調査センター　古墳の丘古曽志公園	邑南町立矢上小学校校長	宮本正保 岩橋孝典 鈴木七奈 伊藤　智

10　その他

来島地区文化祭への参加

主催：来島地区文化祭実行委員会

期日：令和2年11月8日（日）

会場：来島公民館

内容：発掘調査速報展示、缶バッジつくり、勾玉づくり体験

11　資料の貸出・調査等

（1）資料調査（令和2年1月6日～12月28日までに申請があったもの）

研究や展示借用の事前調査など、資料の詳細観察に関して応じている。

【令和元年度1～3月】

番号	資料名	点数	申請者	月日
1	浜寄地方遺跡出土古銭	92	古代文化センター職員	1月22日
2	米坂古墳群出土石塔ほか	41	個人	1月22日
3	勝負遺跡出土土器ほか	7	古代出雲歴史博物館職員	1月23日
4	原田遺跡出土縄文土器ほか	42	荒神谷博物館職員	1月28日
5	出雲国府跡出土遺物ほか	一括	八雲立つ風土記の丘職員	1月30日、2月3日
6	西Ⅰ遺跡出土土器ほか	7	古代出雲歴史博物館職員	2月5日
7	出雲国府跡出土石塔ほか	7	埋蔵文化財調査センター職員	2月5日～3月13日
8	蔵小路西遺跡出土土器ほか	45	古代文化センター職員	2月6日～2月9日
9	川原宮Ⅱ遺跡出土石塔ほか	2	埋蔵文化財調査センター職員	2月12日～2月14日
10	柳遺跡出土滑石製石鍋ほか	21	古代文化センター職員	2月23日～2月24日
11	中野清水遺跡出土鉄鏃ほか	12	駒澤大学大学院学生	2月25日
12	後谷遺跡出土縄文土器	30	埋蔵文化財調査センター職員	3月3日～3月3日
13	出雲国府跡出土土器ほか	23	韓国国立文化財研究所学芸研究士ほか	3月10日～3月11日
14	島根県中近世城館跡分布調査報告書資料	2	古代文化センター職員	3月12日～9月30日
15	三田谷Ⅰ遺跡出土土製品ほか	3	埋蔵文化財調査センター職員	3月13日～3月19日
16	島根県中近世城館跡分布調査報告書資料	2	個人	3月16日～3月17日
17	出雲国府跡出土土器ほか	21	古代出雲歴史博物館職員	3月25日

【令和2年度】

番号	資料名	点数	申請者	月日
18	東淵寺古墳出土円筒埴輪ほか	3	出雲弥生の森博物館職員	4月6日
19	古曽志大谷1号墳出土土器ほか	35	埋蔵文化財調査センター職員	5月25日～7月31日
20	前立山遺跡出土石製品	1	荒神谷博物館職員	5月27日
21	沖手遺跡出土金属鏡	1	埋蔵文化財調査センター職員	6月1日～6月30日
22	尼寺原遺跡出土鉄器ほか	21	古代文化センター職員	6月15日
23	沖手遺跡出土金属鏡ほか	2	古代文化センター職員	6月15日～7月31日
24	沖手遺跡出土銅鏡	2	古代文化センター職員	6月22日～9月25日
25	高浜Ⅰ遺跡資料ほか	2	松江市歴史まちづくり部職員	6月23日
26	西川津遺跡弥生土器ほか	81	古代文化センター職員	7月1日～10月30日
27	西川津遺跡弥生土器	24	古代文化センター職員	7月1日～7月3日
28	中野清水遺跡出土土器	6	古代文化センター職員	7月1日～7月3日
29	西川津遺跡出土土器ほか	81	古代文化センター職員	7月1日～10月30日
30	西川津遺跡出土土器ほか	30	古代文化センター職員	7月1日～7月3日

番号	資料名	点数	申請者	月日
31	竹ケ崎遺跡出土石製品ほか	5	福岡市埋蔵文化財課職員	7月6日～7月8日
32	富田川河床遺跡金属製品	11	埋蔵文化財調査センター職員	7月28日～8月6日
33	岡田薬師古墳出土須恵器	1	松江歴史館職員	7月30日
34	沖手遺跡出土土器	3	古代文化センター職員	8月3日～8月28日
35	沖手遺跡出土土器ほか	5	古代文化センター職員	8月3日～8月28日
36	京田遺跡出土骨角器ほか	23	八雲立つ風土記の丘職員	8月4日
37	堂床遺跡出土玉作関連資料ほか	86	広島県立歴史民俗資料館職員	8月6日
38	三田谷Ⅰ遺跡出土石製品ほか	30	出雲弥生の森博物館職員	8月7日
39	浜寄・地方出土土師器坏ほか	10	古代文化センター職員	8月12日～8月28日
40	山持遺跡出土土器ほか	27	文化財課職員	8月13日
41	西川津遺跡出土土器	14	南山大学准教授	8月25日
42	上野遺跡出土土器ほか	68	古代文化センター職員	8月28日～8月31日
43	上久々茂土居跡ほか	18	古代文化センター職員	8月28日～9月30日
44	西川津遺跡出土金属器	1	埋蔵文化財調査センター職員	9月1日～9月30日
45	山持遺跡出土石製品ほか	13	福岡市埋蔵文化財課職員	9月7日～9月8日
46	中野清水遺跡出土土器ほか	52	埋蔵文化財調査センター職員	9月11日～12月28日
47	常楽寺柿木田古墳群出土土器	5	出雲市文化財課職員	10月1日
48	青木遺跡出土土器ほか	23	荒神谷博物館職員	10月28日
49	才ノ神遺跡出土資料	6箱	埋蔵文化財調査センター職員	11月2日～12月27日
50	山持遺跡出土楽浪土器ほか写真	49	島根大学准教授・学生	11月16日
51	板屋Ⅲ遺跡ほか出土弥生土器	73	出雲市民文化部文化財課職員	11月17日
52	蔵小路西遺跡出土漆器ほか	198	八雲立つ風土記の丘職員	11月20日
53	板屋Ⅲ遺跡ほか出土羽口	14	京都橘大学学生	11月25日
54	山持遺跡出土瓦塔	1	埋蔵文化財調査センター職員	12月3日～12月28日
55	才ノ神遺跡瓦塔ほか	7	埋蔵文化財調査センター職員	12月17日～12月27日

（2）写真資料等（令和2年1月6日～12月28日までに申請があったもの）

単行本、雑誌、展示図録等の写真の掲載に応じている。

【令和元年度1～3月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	西川津遺跡貯木場ほか	2	埋蔵文化財調査センター職員	講演会資料	1月7日
2	山持遺跡出土楽浪土器ほか	2	島根大学准教授	講演会資料	1月29日
3	川平Ⅰ遺跡出土勾玉ほか	2	荒神谷博物館	企画展	1月30日
4	西川津遺跡出土土笛ほか	3	個人	書籍掲載	2月7日
5	中野清水遺跡出土鉄斧ほか	7	島根大学総合博物館	パネル展示	2月7日
6	三田谷4号墳石室ほか	11	出雲弥生の森博物館	企画展	2月21日
7	山持遺跡出土玉類集合	1	古代文化センター職員	新聞掲載	2月22日
8	史跡出雲国府跡35号建物跡	16	八雲立つ風土記の丘	速報展	2月29日
9	荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	株式会社TBSスパークル	TV放送	3月3日
10	史跡出雲国府跡出土漆紙文書ほか	7	古代文化センター職員	新聞掲載	3月5日
11	森原下ノ原遺跡出土鉄製品	1	株式会社ジャパン通信情報センター	書籍掲載	3月16日
12	青木遺跡出土墨書土器ほか	一式	古代出雲歴史博物館職員	常設展示	3月17日

【令和2年度4月～12月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
13	古屋敷遺跡木棺墓ほか	6	荒神谷博物館	企画展	4月1日
14	下山遺跡・屈折土偶写真	2	個人	ホームページ掲載	4月7日
15	西川津遺跡出土土笛ほか	1	石狩市教育委員会	講演会資料	4月13日
16	島根県西川津遺跡・タテチョウ遺跡出土土製品	1	石狩市教育委員会	講演会資料	4月22日
17	富田川河床遺跡空撮写真ほか	2	安来市教育委員会	報告書掲載	4月24日
18	富田川河床遺跡Ⅲ写真　図版17	1	安来市教育委員会	報告書掲載	4月30日
19	月廻古墳群ほか	2	文化庁文化財第2課埋蔵文化財部門	解説パネル	5月1日
20	荒神谷博物館令和元年度春の企画展出雲平野から見る縄文時代シリーズその3	70	荒神谷博物館	パネル展示ほか	5月7日
21	普源田砦跡空撮写真	1	浜田市教育委員会	パネル展示	5月22日
22	下山遺跡出土土偶ほか	15	古代出雲歴史博物館職員	企画展	5月25日
23	道休畑遺跡空撮写真ほか	5	埋蔵文化財調査センター職員	子ども塾	6月3日
24	荒神谷遺跡銅鐸取り上げ状況ほか	1	荒神谷博物館	特別展	6月6日
25	西川津遺跡出土黒曜石ほか	8	古代文化センター	ホームページ掲載	6月10日
26	荒神谷遺跡出土銅鐸・銅矛出土状況	16	荒神谷博物館	パネル展示ほか	6月10日
27	荒神谷遺跡地下レーダー調査実施状況ほか	6	荒神谷博物館	特別展	6月15日
28	史跡出雲国府跡全景写真	1	株式会社雄山閣	書籍掲載	6月15日
29	森原下ノ原遺跡出土絵画土器ほか	8	株式会社ジャパン通信情報センター	書籍掲載	6月25日

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
30	荒神谷遺跡出土１号銅鐸ほか	23	荒神谷博物館	パネル展示	6月 25 日
31	中野清水遺跡出土土器・山持遺跡出土土器	2	古代文化センター職員	書籍掲載	6月 30 日
32	下山遺跡出土土偶画像	2	福島市	書籍掲載	7月 10 日
33	西川津遺跡・古屋敷Ⅱ遺跡	1	九州国立博物館	パネル展示	7月 13 日
34	島田１号噴出土筒型器台ほか	5	古代文化センター	ホームページ掲載	7月 13 日
35	久村鉱山跡　選鉱場　空撮	1	出雲弥生の森博物館	パンフレット掲載	7月 16 日
36	勝負遺跡出土土器ほか	3	奈良文化財研究所	書籍掲載	7月 22 日
37	人面付土器	1	株式会社吉川弘文館	書籍掲載	7月 30 日
38	池跡の護岸ほか	4	ハーベスト出版	書籍掲載	7月 31 日
39	臼コクリ遺跡出土須恵器ほか	3	古代文化センター	ホームページ掲載	8月４日
40	岡田山１号古墳の横穴式石室	1	出雲弥生の森博物館	パネル展示ほか	8月６日
41	御崎谷遺跡全景ほか	3	国立歴史民俗博物館	書籍掲載	8月 21 日
42	島根県青木遺跡出土品ほか	13	国立歴史民俗博物館	書籍掲載	8月 21 日
43	史跡出雲国府跡ほか	2	古代文化センター職員	新聞掲載	8月 26 日
44	堂床遺跡出土　玉作関連資料写真ほか	13	広島県歴史博物館	パネル展示	8月 31 日
45	荒神谷遺跡出土銅剣	1	株式会社はる製作所	書籍掲載	9月１日
46	下山遺跡土偶ほか	7	出雲弥生の森博物館	パネル展示ほか	9月３日
47	渋山池古墳群１号横穴墓陶棺	1	古代文化センター	新聞掲載	9月４日
48	六重城南遺跡・瀧坂遺跡・鉄穴内遺跡	2	奈良文化財研究所	書籍掲載	9月７日
49	岡田薬師古墳出土　須恵器　子持壺の蓋の画像	1	松江歴史館	展覧会	9月 11 日
50	荒神谷遺跡「銅剣 358 本」発掘写真	1	中央公論新社（中公文庫）	書籍掲載	9月 14 日
51	荒神谷遺跡　銅鐸　銅剣集合	1	株式会社悠工房	書籍掲載	9月 14 日
52	富田川河床遺跡出土朝鮮陶器ほか	5	埋蔵文化財調査センター職員	書籍掲載	10 月１日
53	隠岐空港埋蔵文化財調査報告書	30	古代文化センター	講座資料	10 月６日
54	余小路遺跡　５号溝礫検出状況	1	荒神谷博物館	ホームページ掲載	10 月７日
55	荒神谷遺跡　銅剣出土状況ほか	2	出雲市観光課	SNS 掲載	10 月８日
56	富田城跡出土木簡	18	木簡学会	インターネット	10 月 23 日
57	荒神谷遺跡（島根県出雲市）出土銅剣の写真	1	株式会社リクルート	書籍掲載	10 月 30 日
58	森原下ノ原遺跡の噴砂痕跡の写真	2	古代出雲歴史博物館	講演資料	11 月 12 日
59	荒神谷遺跡銅剣出土状況及び加茂岩倉遺跡銅鐸出土状況	12	株式会社湘南	書籍掲載	11 月 13 日
60	普源田砦跡空撮写真	1	浜田市立岡見公民館	かるた作成掲載	11 月 13 日
61	荒神谷遺跡	1	TBS 放送センター	テレビ放送	11 月 24 日
62	久村鉱山　巻頭図版３号	2	戦争史会議・松江	書籍掲載	11 月 24 日
63	宍道町上野Ⅱ遺跡出土鉄素材ほか	2	島根大学	講演資料	11 月 26 日
64	史跡出雲国府跡ほか	3	山陰中央新報社	新聞掲載	12 月１日
65	山持遺跡出土楽浪土器ほか	2	（株）イースト・エンターテイメント	テレビ放送	12 月 16 日
66	荒神谷遺跡出土銅剣ほか	2	株式会社好学出版	書籍掲載	12 月 17 日
67	山持遺跡出土楽浪土器ほか	2	テレコスタッフ株式会社	テレビ放送	12 月 21 日
68	青木遺跡出土木簡 H15 年度講演資料	2	株式会社　花鳥社	書籍掲載	12 月 22 日
69	荒神谷遺跡　銅剣・銅矛出土状況の写真	1	山川出版社	教科用図書	12 月 22 日

（3）資料貸出（令和２年１月６日～ 12 月 28 日までに申請があったもの）

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

【令和元年度１～３月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
2	黒田畦遺跡出土陶磁器ほか	10	古代出雲歴史博物館	企画展	２月３日～６月１日
1	出雲国府跡出土品ほか	56	出雲弥生の森博物館	企画展	２月 10 日～５月 29 日
3	原田遺跡出土資料	59	荒神谷博物館	企画展	２月 28 日～７月 22 日
4	山代原古墳出土資料ほか	57	八雲立つ風土記の丘	速報展	３月 10 日～５月 31 日
5	西Ⅰ遺跡出土移動式竈ほか	7	古代出雲歴史博物館	常設展示	３月 18 日～３月 31 日

【令和２年度４月～ 12 月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	荒神谷遺跡出土土器ほか	13	荒神谷博物館	常設展	４月１日～３月 31 日
2	大東高校グランド遺跡出土玉未製品	4	松江市立出雲玉作資料館	常設展	４月１日～３月 31 日
3	原田遺跡出土縄文土器ほか	17	国立歴史民俗博物館	常設展	４月１日～３月 31 日
4	才の峠遺跡出土須恵器ほか	596	八雲立つ風土記の丘	常設展	４月１日～３月 31 日
5	古志本郷遺跡出土土器ほか	271	出雲弥生の森博物館	常設展	４月１日～３月 31 日
6	板屋Ⅲ遺跡出土縄文土器ほか	21	島根県立三瓶自然館	常設展	４月１日～３月 31 日
7	石見銀山遺跡出土土壁	1	大田市教育委員会	常設展	４月１日～３月 31 日
8	今佐山遺跡出土砂鉄ほか	2	和鋼博物館	常設展	４月１日～３月 31 日
9	前立山遺跡出土土器ほか	221	吉賀町教育委員会	常設展	４月１日～３月 31 日

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
10	原田遺跡出土石斧ほか	18	古代出雲歴史博物館	常設展	4月1日～3月31日
11	姫原西遺跡出土曲柄又鍬ほか	9	出雲弥生の森博物館	常設展	4月10日～3月31日
12	富田川河床遺跡出土柄鏡ほか	31	古代出雲歴史博物館	企画展	6月4日～10月14日
13	尼寺原遺跡出土鉄器	21	古代文化センター職員	X線撮影	6月15日
14	縄文土器セット	1	出雲市立東小学校	子ども塾	6月22日～6月23日
15	やつおもて古墳群出土弥生土器ほか	7	浜田市立波佐小学校	子ども塾	6月26日～7月3日
16	玉完成品セットほか	4	出雲市立窪田、荒木、灘分小学校	子ども塾	6月26日～7月7日
17	前立山遺跡出土棒状石製品ほか	3	荒神谷博物館	特別展	6月26日～9月4日
18	古曽志大谷1号墳埴輪ほか	23	浜田市立原井小学校	子ども塾	7月4日～7月6日
19	弥生食卓セットほか	3	浜田市立松原小学校	子ども塾	7月7日～7月9日
20	東前田遺跡出土須恵器ほか	13	松江市立持田小学校	子ども塾	7月7日～7月8日
21	田中谷遺跡出土須恵器ほか	47	松江市立法吉小学校	子ども塾	7月9日～7月10日
22	面白谷遺跡出土勾玉ほか	46	浜田市立第三中学校	子ども塾	7月10日～7月17日
23	神出西遺跡出土須恵器ほか	8	益田市立安田小学校	子ども塾	7月13日～7月14日
24	タテチョウ遺跡出土弥生土器	4	島根県立出雲養護学校みらい分校	子ども塾	7月14日～7月15日
25	沖手遺跡出土土師器	3	古代文化センター職員	検討会	8月3日～8月28日
26	三田谷Ⅰ遺跡出土石冠状石器ほか	47	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	8月24日～12月7日
27	家の後Ⅱ遺跡出土石鏃ほか	16	安来市立赤屋小学校	子ども塾	8月31日～9月2日
28	縄文土器セットほか	9	奥出雲町立三沢小学校	子ども塾	9月1日
29	青木遺跡出土木簡ほか	12	国立歴史民俗博物館	企画展	9月14日～12月16日
30	堂床遺跡出土玉作関係遺物ほか	89	八雲立つ風土記の丘	常設展	9月16日～12月3日
31	小才遺跡出土須恵器ほか	28	浜田市立旭小学校	子ども塾	9月24日～9月25日
32	京田遺跡出土骨角器ほか	51	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展	9月29日～12月25日
33	常楽寺柿木田古墳群出土土師器	1	出雲弥生の森博物館職員	写真撮影ほか	10月1日～3月12日
34	御崎谷遺跡出土小型瓶ほか	17	古代文化センター職員	展示	10月2日～10月5日
35	玉完成品セットほか	3	埋蔵文化財調査センター職員	勾玉づくり体験	11月17日～11月18日
36	日脚遺跡出土縄文土器ほか	29	島根県立浜田ろう学校	子ども塾	11月24日～11月26日
37	岡田薬師古墳出土須恵器	1	松江歴史館	企画展	11月26日～2月19日
38	蔵小路西遺跡出土漆器ほか	198	八雲立つ風土記の丘	企画展	12月18日～3月17日

（4）その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

番号	物品名（点数）	貸出先	使用目的	貸出期間
1	赤外線検査装置	埋文センター調査第1課	墨書板撮影	12月7日～12月9日

（5）埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会などの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的にホームページを開設・運用している。

2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ｱｸｾｽ数	2,313	1,935	2,030	4,515	4,299	4,002	2,708	2,962	3,235	3,802	3,281	3,471	38,553

Ⅲ　研究事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎調査研究事業」、基礎研究「風土記調査研究事業」およびテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

調査事業名	細業	当センターの担当者
考古基礎資料調査研究事業：墓制調査	①前期古墳調査 ②風土記の丘地内の古墳調査	深田・岩橋・守岡・伊藤・角田・東森・吉松・廣江
考古基礎資料調査研究事業：基礎資料収集調査	①出土品再整理	深田・伊藤・守岡・東森・廣江
考古基礎資料調査研究事業：生産遺跡調査	①県内鋳造遺跡・鋳物師資料集成 ②須恵器・埴輪産地分析	角田・上山
風土記調査研究事業：歴史景観復元調査	従来の風土記調査研究報告書（歴史景観復元調査）と、国府所在の意宇郡の研究（古代地域社会研究）をあわせたもの	岩橋
風土記調査研究事業：出雲国風土記校訂注釈本作成	『出雲国風土記』の基礎的な調査研究の蓄積をもとに、『出雲国風土記』の注釈書作成に向けた検討を行う	林
テーマ研究	山陰弥生文化の形成過程	岩橋・今福
	山陰における古代交通の研究	林
	中世石見における在地領主の動向	守岡・廣江
	古代出雲と吉備の交流	伊藤・岩崎・真木・上山
	近世近代の交通と地域社会経済	東森
	古代隠岐の形成と特質	岩橋・東森

Ⅳ　研修事業

1　埋蔵文化財基礎研修

島根県および県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は、実施を見送った。

2　埋蔵文化財専門研修

島根県および県内市町村埋蔵文化財担当者を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な専門知識や技術の習得を目的とした研修。今年度は、実施を見送った。

Ⅴ　会議・講習会参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、中国・四国・九州ブロック会議および研修会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面等により行われた。

（1）総会　書面審査

（2）中国・四国・九州ブロック会議　書面審査

（3）研修会　令和2年10月15日　富山県埋蔵文化財センター

文化庁が主催する令和2年度埋蔵文化財担当職員等講習会に2名が参加した。

令和2年8月26日　オンライン配信

文化庁が主催する研究集会水中遺跡保護行政の実態Ⅲに1名が参加した。

令和3年2月9日　オンライン配信

Ⅵ　発掘調査事業

受託事業　令和２年度は６事業６遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は国直轄事業の一般国道９号改築事業（大田静間道路・静間仁摩道路・福光浅利道路）および江の川改修事業、大橋川改修事業、民間大規模開発事業である。

大田静間道路予定地内では、大田市長久町半明（はんみょう）遺跡で古代末から中世初頭の集落跡を確認した。「東」の墨書土器を含む須恵器や貿易陶磁、鋳鉄製犂（すき）先が出土した。静間仁摩道路予定地内では、大田市静間町小金川Ｂ遺跡で弥生時代後期から古代の集落跡を確認し、須恵器の鉄鉢形土器や９世紀後半の灰釉陶器が出土した。福光浅利道路予定地内では、江津市黒松町高丸遺跡から伏せ焼き式窯等を確認した。

江の川改修予定地内では、江津市松川町森原下ノ原遺跡で古代の河道跡、中世の掘立柱建物、弥生時代後期の竪穴建物のほか、縄文時代から近世までの土器、石器等を数多く確認した。特に、古墳時代前期と考えられる石釧片は島根県内２例目と注目される。大橋川改修予定地内では、松江市朝酌町朝酌矢田Ⅱ遺跡からスロープ状の石敷遺構が発見された。川岸に礫とともに須恵器片を敷設しており、機能として船着き場や荷揚場が考えられる。

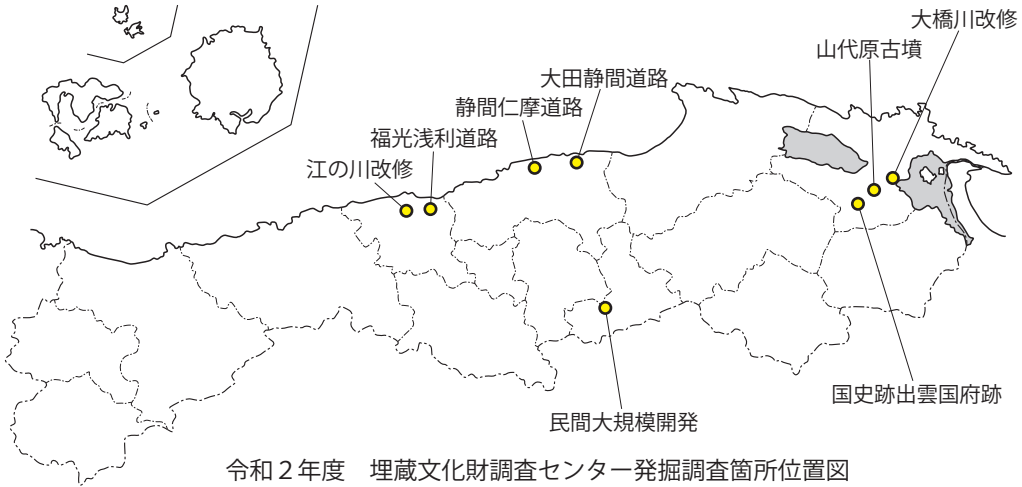
民間大規模開発では、飯石郡飯南町上ノ谷遺跡で縄文時代前期から古墳時代までの集落跡を確認した。縄文時代前期の遺構・遺物は三瓶山の火山灰を挟んだ上下の堆積土から出土した。

学術調査　今年度の史跡出雲国府跡の発掘調査は国庁正殿の周辺の調査を行い、国庁の脇殿の柱穴の断ち割りや周辺部から埋納された状態で確認された土師器甕を調査した。また、正殿南側の石敷遺構の調査では、下層から正殿の柱筋に合う建物を検出した。大庭・山代古墳群に位置する山代原古墳の２年目の調査を行い、墳丘規模や墳形がほぼ判明した。

また、墓制調査では平成 30 年度から継続調査している松江市大草町の西百塚山 19 号墳の報告を行った。新たに松江市鹿島町鵜灘山古墳群の測量調査に着手した。

分布調査　今年度は、江の川改修事業や松江北道路等の予定地内の分布調査を実施した。

報告書作成　今年度は、大田静間道路の半明遺跡、静間仁摩道路の小金川Ｂ遺跡、三隅益田道路の国ヶ峠遺跡・普源田砦跡、大橋川改修のシコノ谷遺跡、若宮谷遺跡、江の川改修の森原神田川遺跡、国道 432 号大庭バイパスの下黒田Ⅱ遺跡の調査報告書を刊行した。



令和２年度　埋蔵文化財調査センター発掘調査箇所位置図

1　一般国道９号（大田静間道路）改築工事に伴う発掘調査

事業概要　この調査は、国土交通省松江国道事務所から委託を受けて平成 27 年度から実施している。今年度は、高規格道路の付帯工事（調整池）に伴い半明遺跡の調査を行った。調査期間は、令和２年６月１日から令和２年９月 14 日、調査対象面積は 550㎡、調査体制は調査員１名、会計年度任用職員調査補助員２名で実施した。

半明遺跡

調査の概要　半明遺跡は、大田市長久町長久に所在し、三瓶川が形成する大田平野の北岸、鳥井丘陵の南裾に位置する。調査区は、狭く急な谷あいにあり、標高は約 17 ｍ前後であった。調査前は畑あるいは水田休耕地であった。遺跡北側の鳥井丘陵には、鳥井南遺跡、御堂谷遺跡など、弥生時代から平安時代にかけての著名な遺跡があり、式内社野井神社はじめ、古代山陰道に関係すると思われる遺跡の結線上に近い。

半明遺跡位置図

遺構の概要　狭隘な地形での調査であり、検出した遺構は、溝３、土坑２、ピット 54 など比較的少ない。溝は、２層に及ぶが、出土遺物などから、いずれも平安時代後期のものと考えられる。杭列を伴うものもあり、検出した３条とも水路と考えられる。谷間の地形にあって、当時の灌漑の状況を反映していると考えられる。

遺物の概要　遺物は、遺構や包含層中からコンテナ８箱出土した。遺構からは、中国製陶磁器や土師質土器が出土している。包含層中からは、古代から平安時代の土師器、須恵器、越州窯系青磁、龍泉窯系青磁、白磁など貿易陶磁器を含む陶磁器、平安時代から鎌倉時代の土師質土器、中世須恵器、鋳鉄製の犂先などが出土している。坏皿の中には、墨書（須恵器坏外部底面　写真１）や刻書（土師質土器坏底部内面）、須恵器の転用硯など文字資料がある。

まとめ　半明遺跡は、野井神社など式内社の近隣にあり、古代道路に関係すると考えられている結線上に近い。貿易陶磁器や文字資料が出土することから、遺跡周辺に公的施設の存在が類推される。また、平安時代後期に遡る可能性のある犂先の出土や水路遺構などから、犂耕を用い、先進的な農業生産を早くから導入した集団の存在が窺われる。　（大庭俊次）

写真１　墨書

写真２　犂先上面

2　一般国道９号（静間仁摩道路）改築工事に伴う発掘調査

事業概要　この調査は、国土交通省松江国道事務所から委託を受け平成 25 年度から実施している。今年度は小金川Ｂ遺跡の調査を行った。調査期間は令和２年５月 29 日から同年９月４日、調査対象面積は 700㎡、調査体制は調査員１名、会計年度任用職員調査員１名、同調査補助員１名で実施した。

小金川Ｂ遺跡

調査の概要　本遺跡は大田市静間町字小鯛ヶ原に所在する。海岸から約１㎞の谷間に位置し、小金川南岸の斜面および段丘面に立地する。標高は 15 ～ 20 ｍである。調査区の南部が斜面、中央から北部は段丘面で、調査前の斜面は荒蕪地、段丘面は耕作放棄された棚田であった。調査対象地周辺は地盤が弱く、地滑りの痕跡も認められた。周辺には、五十猛神社遺跡、湊東遺跡など弥生時代～古墳時代の散布地や垂水古墳、楠石横穴群、古代～中世の集落遺跡である垂水遺跡などが点在する。

遺跡位置図（1/25,000 大浦）

遺構等の概要　斜面には、厚さ約１ｍの遺物包含層が堆積していた。弥生土器から中世とみられる土師器まで幅広い時期の遺物が出土したほか、黒曜石の剥片やサヌカイトも確認した。ほとんどの層で様々な時期の遺物が混在しており、周辺の地形改変や地滑りの影響で流れ込んだものとみられる。遺構は検出できなかった。

段丘面では南東部の標高 16 ｍ付近に遺構面が存在し、ピット 20 と土坑１を検出したが、伴う遺物は無く性格は不明である。この面では、斜面と段丘面の境界付近で自然流路１も確認した。遺構面の上に堆積する遺物包含層からは、斜面と同様に弥生時代以降の遺物が出土したが、量的には奈良時代後半～平安時代の須恵器が多い。また、鉄鉢形土器や灰釉陶器、転用硯、12 世紀後半の龍泉窯系青磁も確認した。遺構面を形成する層やその下層も遺物包含層で、少量であるが弥生時代後期の土器や灰釉陶器などが出土した。灰釉陶器はいずれも猿投窯産の９世紀後半のものと考えられ、遺構面の上に堆積した包含層は二次堆積によって形成されたことがわかる。なお、灰釉陶器には、水瓶または浄瓶とみられるもの、唾壺とみられるものがある。

まとめ　今回の調査では、鉄鉢形土器や仏器と考えられる灰釉陶器、転用硯といった特殊な遺物が出土したことから、周辺に仏教関連施設の存在が想定される。古代から中世の石見地方東部の様相を考える上で、貴重な資料を提供することができた。　（宮本正保）

遺跡全景（南西から）

灰釉陶器

3　一般国道９号（福光浅利道路）改築工事に伴う発掘調査

事業概要　この調査は国土交通省浜田河川国道事務所から委託を受けて今年度から実施している。今年度は高丸遺跡の発掘調査を行った。調査期間は令和２年６月 22 日から令和３年１月 19 日、調査対象面積は約 2,200㎡、調査堆積は調査員１名、会計年度任用職員調査員１名、同調査補助員１名で実施し、適宜センター職員の援助を得た。

高丸遺跡

調査の概要　高丸遺跡は江津市黒松町に所在し、標高５～ 15 m の丘陵下方、倉谷川に向かう緩斜面に位置する。調査前は山林であった。昨年度実施した試掘調査では整地層を確認し、古代山陰道の推定ルートに近いことや遺跡の南西に位置する切り通しの状況から、古代道の可能性があると推測して発掘調査に挑んだ。

高丸遺跡位置図

遺構等の概要　調査区の南西側でよく締まった整地層を南北約 50 m以上、東西約 10 mの範囲で確認した。当初はこれを古代山陰道と判断し、10 月 25 日（日）に現地説明会を実施し、約 90 名の参加を得たが、結果からいうとこれは誤認で、整地層から近世（17 ～ 19 世紀）の陶磁器が出土し、整地層の時期は近世になることがわかった。整地層の性格を検討するため、花粉分析を実施した。なお、整地層は砂丘の上に築かれている。これとは別に、調査区の東側で幅約３～４ m、現存の長さ約 14 mの硬化面を確認した。これは明治の地籍図に載っている土地の区画に相当すると考えられる。整地層の下層では、調査区の南側で伏せ焼き式の炭窯を１基確認した。長さ約 6.6 m、幅約 2.7 mである。長軸に沿った遺構の両端には焼土がある。炭窯に伴う遺物は無いが、平安時代～室町時代と考えられる。さらに炭窯の下層には古墳時代後期から奈良・平安時代の遺物包含層があり、須恵器や土師器が出土した。このほか、谷状地形に平行する細い溝を１条確認した。遺物が出土しなかったので、時期は不明である。

まとめ　今回の調査では古代山陰道に直接関連する遺構は見つからなかったが、古墳時代後期～奈良・平安時代の遺物包含層、伏せ焼き式の炭窯１基を確認した。炭窯が築かれるということは、調査地周辺が当時の集落からは離れた山林の中に位置することを示している。また、遺物包含層の存在は調査地周辺に該期の集落があることを示している。　（中川　寧）

伏せ焼き式の炭窯

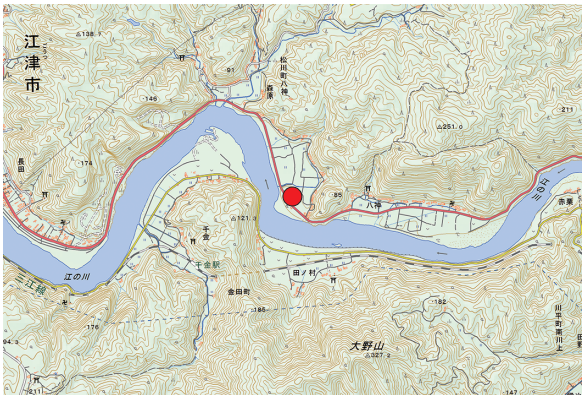
完掘状況

4　一級河川江の川直轄河川改修事業（森原地区）に伴う発掘調査

事業概要　この調査は国土交通省浜田河川国道事務所から委託を受けて平成 29 年度から実施している。今年度は森原下ノ原遺跡（1・2区）の調査を行った。 1 区は想定を超える縄文時代の包含層・遺構面が確認されたため、昨年度から一部延長して調査した。調査期間は令和 2 年 5 月 11 日から令和 2 年 12 月 16 日、調査対象面積は 2,580㎡、調査体制は調査員 1 名、調査補助員 2 名で実施した。

森原下ノ原遺跡（1・2区）

調査の概要　本遺跡は江津市松川町八神に所在し、江の川下流の右岸に広がる低地部の南西隅に位置する。標高は約 8 mで、調査前は宅地および畑地として利用されていた。北側は古墳時代から古代にかけての遺物が大量に出土した森原神田川遺跡と隣接する。また、周辺には、八神上ノ原遺跡や八神上ノ原Ⅱ遺跡などの集落遺跡や、千本崎城跡、松山城跡などの中世の城跡、八神鈩跡や価谷鈩跡などの近世・近代の鈩跡が存在する。



森原下ノ原遺跡位置図

遺跡の最も北側にあたる 1 区では、縄文時代中期から後期の遺物がコンテナ約 80 箱出土した。また、複数の遺構面を確認し、縄文時代後期の地床炉や墓の可能性がある土坑など、遺構約 50 基を検出した。

1 区の南側に隣接する 2 区では、標高約 4 m、地表下約 4 mまで遺物包含層を確認し、縄文時代中期から江戸時代前期にかけての遺物がコンテナ約 190 箱出土した。調査区西側は平安時代頃に江の川の作用によって大きく削平され、その後の再堆積により徐々に埋没していったことが明らかとなった。一方、東側では縄文時代から古墳時代にかけての遺物包含層、遺構面を確認し、弥生時代後期の竪穴建物や弥生時代前期の土器廃棄土坑など、遺構約 450 基を検出した。

まとめ　今回の調査では、弥生時代の集落や平安時代および江戸時代の畑など、生活・生産に関わる遺構が多数確認された。また、遺物では石釧など有力者の存在をうかがわせる貴重なものも出土した。さらに、河川による大規模な浸食跡を確認し、5,000 年以上にわたる江の川と人々の密接な関わりがわかる、貴重な発掘調査となった。（真木大空）

森原下ノ原遺跡 2 区出土石釧

弥生時代後期の竪穴建物調査状況

5　斐伊川水系大橋川河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

事業概要　この調査は国土交通省出雲河川事務所から委託を受け、昨年度に引き続き大橋川北岸に位置する朝酌矢田Ⅱ遺跡の発掘調査を行った。現地調査期間は令和２年６月16日～12月18日、調査対象面積は約1,400㎡、調査体制は調査員１名、会計年度任用職員調査員１名、同調査補助員１名で実施した。

朝酌矢田Ⅱ遺跡

調査の概要　本遺跡は松江市朝酌町矢田に所在し、市街を貫流する大橋川が最も河川幅を狭める北岸に位置している。遺跡周辺の現状は宅地および耕地で、近くには「矢田の渡し」船着き場がある。

調査区は、「矢田の渡し」北側の平坦地Ｄ区と大橋川沿岸にあたるＣ区の２箇所を調査した。まず年度前半にＤ区を調査した結果、古代の礫敷き遺構が確認された。礫敷きには拳大ほどの礫と伴に須恵器片が混ぜられており、７世紀中葉～後半に敷設されたものであることがわかった。

朝酌矢田Ⅱ遺跡の位置図

年度後半に調査したＣ区では、調査区一面に護岸状の礫敷き遺構を確認した。Ｄ区の礫敷き同様、礫と伴に多量の須恵器片が混ぜられていた。造成時期は８世紀代と考えられる。礫敷きは、川側に向かってスロープ状に緩く傾斜しており、北半（陸側）と南半（川側）で礫の大きさや密度、色が異なっている。このことは、当時の入海の汀線を示す一資料である。古代の景観を復元する上でも、汀線が明らかとなったことは重要な成果といえる。また、川と並行する杭列を検出し、部分的に土層断面で確認したところ、長さ約1.3ｍの杭を打ち込んでいることがわかった。石敷きの機能としては、船着き場や荷揚場が考えられる。

礫敷きは調査区外にも広がっており、大規模な労働力によって造成されたことが想定される。このことからも、『出雲国風土記』に登場する「朝酌渡」と関連する遺構の可能性が高い。古代の土木技術や交通・交流実態の一端が明らかになったといえる。　（岩崎孝平）

朝酌矢田Ⅱ遺跡Ｃ区の空撮写真（東から）

Ｃ区の礫敷き遺構（東から）

6　大規模民間開発に伴う発掘調査

事業概要　この調査は民間企業から委託を受けて令和元年度から実施している。今年度は上ノ谷遺跡の調査を行った。調査期間は令和２年５月 11 日から令和２年 12 月 11 日、調査対象面積は 2,100㎡、調査体制は調査員２名、会計年度任用職員３名（調査員１名、調査補助員２名）で実施した。

上ノ谷遺跡

調査の概要　上ノ谷遺跡は飯石郡飯南町下来島に所在し、神戸川上流域に形成された平野部の最奥に位置する後背山地中腹緩斜面に立地する。標高は約 430 ｍである。遺跡内には小河川が流れており、小河川を挟んで東側を１区、西側を２区とした。昨年度からの継続調査であり、今年度は１区西半部および２区の調査を実施した。調査地には三瓶山の噴火に伴う火山灰が堆積しており、三瓶太平山降下火山灰（第１ハイカ：約 4,000 年前）より上層で古墳時代後半期の遺構・遺物を確認した。また、三瓶角井降下火山灰（第２ハイカ：約 5,500 年前）の上下に堆積する層では縄文時代前期の遺構・遺物を確認した。

上ノ谷遺跡位置図

遺構等の概要　第１ハイカより上層では縄文時代後期から古墳時代後期にかけての遺物が出土したほか、竪穴建物や大型土坑など約 500 基の遺構を検出した。竪穴建物からは古墳時代中期後半の遺物が出土しており、昨年度の調査成果を踏まえると、古墳時代後半期の集落が存在していたことが考えられる。第２ハイカの上下に堆積する層では縄文時代前期の遺物が出土している。第２ハイカ上層では三瓶山の噴火と同時期となる縄文時代前期末の遺物が出土し、土坑や小土坑も約 100 基検出している。第２ハイカ下層では縄文時代前期前葉の遺物が出土しており、石鏃や石器製作に伴う剥片、チップなどが集中して出土する状況を確認した。また、竪穴建物１棟のほか、土坑や小土坑を約 250 基検出している。

まとめ　今回の調査では、縄文時代前期から古墳時代後期にかけての多様な遺構・遺物が発見された。断続的に当遺跡で人々が生活していた状況が想定できる。また、三瓶山の噴火という自然災害に対応する人々の活動痕跡や縄文時代前期前葉の縄文人の活動の一端を把握することができた。当時の社会様相を検討する上で貴重な調査成果であるといえる。　（今福拓哉）

調査地全景

縄文時代前期前葉の遺物

Ⅶ　学術調査ほか

1　史跡出雲国府跡

調査概要　国庫補助事業として平成 11（1999）年度から出雲国府跡の発掘調査を行っている。令和２年度は六所脇地区（政庁域）の南東～南側 450 ㎡を発掘調査した。現地調査は７月 27 日～ 12 月 18 日まで、調査員１名、補助員２名で実施した。

出雲国府跡位置図

遺構の概要　令和２年度調査区は平成 27 年度 T59、T60、平成 30 年度調査区 T69、令和元年度調査区 T70 の一部を含む調査区である。昨年度検出した石敷き遺構の西側でも石敷き遺構が検出されたほか、石敷き遺構に重複するもしくは同時に存在した溝を検出した。溝の埋土内の遺物は 12 世紀前半頃の土師器が主体である。また、石敷き遺構は上層整地層に敷設されていることが判明した。上層整地層の整地時期については不明な点も多く、今後検討が必要である。

石敷き遺構の下層では、新たに 37 号建物跡を検出した。37 号建物跡は、梁行２間×桁行２間以上で、柱間は東端部分を除いて３m（10 尺）で東端のみ 2.7 m（９尺）である。SB020 の身舎と廂に対応しているほか、35 号建物跡の柱位置とも対応する。この建物は、掘方と抜き取り穴を検出したのみで掘立柱建物１時期と考えられる。

36 号建物跡周辺で土器を埋設した土坑を確認した。36 号建物跡の周辺で土師器甕を９個体埋設しており、２個一対の形で検出されたものもある。掘方や抜き取り穴と切り合い関係はなく、時期は検討が必要である。地鎮など、なんらかの祭祀的な利用があったものと考えられる。

遺物の概要　須恵器、土師器、緑釉陶器、瓦などが出土した。遺構面までの埋土（造成土）からは様々な時期の遺物が出土した。古代の遺構の基盤層からは７世紀代の須恵器や土師器が出土している。また、撹乱層からではあるものの、墨書土器が出土した。

まとめ　今年度の調査により、新たに 37 号建物跡が検出された。政庁域の建物配置のあり方から前殿と考えられる。今回の調査で不明な点が多かった政庁域の建物配置や変遷を考える上で重要な成果を得ることができた。

（吉松優希）

37 号建物跡（南東から）

土器埋設土坑（南から）

2　山代原古墳

調査概要　八雲立つ風土記の丘地内における重要遺跡の保護を目的とし、令和元年度から令和２年度まで継続して発掘調査を行っている。今年度は墳丘および周辺地形の補足測量調査を実施し、５ヶ所のトレンチの発掘調査を行った。現地調査は５月 11 日から６月 30 日まで実施した。

山代原古墳位置図

遺構の概要　トレンチ調査では、墳丘東西で周溝と墳端の一部を確認した。これにより東西方向では一辺 23.5 m前後、南北も同様の規模と想定された。周溝は標高の高い東側と北側には施工されていると思われるが、南側６トレンチでは旧表土が残っており南側では周溝の掘削が行われていない可能性が考えられた。墳丘西側では標高が低下してくるため、西側にも周溝が巡る可能性は低いと想定される。

石室の前室床石基底部の調査では、前室床石が厚さ 75㎝の巨石であること、各所にくり込みが設けられており、玄室と同様に前室においても全ての壁石の荷重を床石で受けていることが確認できた。また、現存している前室左側の床石は玄室床石の一部を下支えしていることから、古墳の石室構築の際に最初に据え付けられて構築の起点となった部材であることがわかった。

遺物の概要　南側墳丘外の６トレンチ包含層から須恵器大甕の胴部破片１点のみが出土しているが、古墳の築造年代に関する新知見は得られていない。

まとめ　今年度の調査により、墳丘形態・規模が推定可能となり、古墳の構造および石室を含めた構築過程を示す資料が得られた。また、特徴的な前室下部構造がある程度明らかになり、石棺式石室の構造変遷において最終局面の様相に新知見を得ることができた。　（岩橋孝典）

石棺式石室玄室外観と前室床石

５トレンチ（墳丘西端）

3　考古資料基礎調査研究（墓制調査）

（1）鵜灘山古墳群（松江市鹿島町名分）

調査の概要　この測量調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが「考古基礎資料調査研究（墓制調査）」事業の一環として実施している。調査体制は古代文化センター職員4名、埋蔵文化財調査センター調査員10名、補助員1名で令和2年1月18日～2月1日の期間で実施した。

遺構の概要　標高約44 mの鵜灘山の尾根頂部に立地する6号墳と8号墳を測量した。その結果、6号墳は全長38 m前後の前方後円墳で、後円部の高さ3.9 mに対して前方部の高さは1.5 m前後であった。前方部端が開かないいわゆる「柄鏡形」の前方後円墳とされてきたが、地形に制約を受けながらも、前方部端はわずかに開く様子が看取された。6号墳の北側に隣接する8号墳は、直径20 m前後の円墳と考えられる。6号墳の南西側や8号墳の北側・東側の尾根状には連接して低平な方形墳丘を持つ墳墓が築造されている。

まとめ　今回の調査では、6号墳が古墳時代前期に築造された可能性が考えられた。周辺の尾根上に低平な墳丘を持つ古墳が連接して築造されており、近隣の奥才古墳群などと同様な群構成がみられる。前期群集墳の最上位に前方後円墳が含まれるあり方は、主墳に対して小型墳墓が従属する「従属型」にみえるが、主墳と従属墳の墳形の違いは両者の系列の違いを反映している可能性もあり、複数の「系列型」の併存とみることもできる。いずれにせよ鹿島地域の古墳時代前期の社会集団のありようが顕在化している可能性が認められる。　（岩橋孝典）

（2）西百塚山古墳群（松江市大草町）

平成30年度～令和元年度にかけて実施した西百塚山19号墳の発掘調査成果、西百塚山古墳群・才光寺古墳群の分布調査成果を『古代文化研究』第29号（島根県古代文化センター）で報告した。

（吉松優希）

4　考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

本事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施し、現在当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心とした再整理を行い、その内容を明らかにするとともに、県民をはじめ一般に広く利用できるようデータベース化を図ることを目的としている。

9年目となる今年度は、松江市西川津町に所在する朝酌川遺跡群のうち、『西川津遺跡Ⅰ』（島根県教育委員会1980年度調査）と『西川津遺跡Ⅱ』（同1981年度調査）の出土品について分類・データベース入力、実測図作成等の整理作業を完了した。こうした再整理調査により、西川津遺跡における弥生拠点集落遺跡としての動態の一端が明らかとなり、その成果をまとめた報告書『島根県西川津遺跡出土品1－島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所蔵資料再整理事業報告書2－』を刊行した。

（深田　浩）

5　保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水漬けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。水漬け木製品は、主にトレハロースでの保存処理を行っている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行なっている。処理後の遺物は温湿度管理下において保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。赤外線観察・X 線撮影・蛍光 X 線分析に関しては、古代出雲歴史博物館と連携し、調査現場、報告書撮影、保存処理での活用のほかに、市町村教育委員会・大学等を対象とした観察・撮影・分析も行なっている。

令和２年度　作業実績

出土遺物の保存処理は、未処理または、一度保存処理を施されているが状態が悪化したものについて、第１～３表のとおり実施した。保存状態や活用機会の可能性を考慮して、保存処理計画を作成するとともに、古代出雲歴史博物館の展覧会や外部機関への貸し出しに対応するために、随時計画を調整して保存処理を進めている。理化学分析は第４・５表のとおり実施した。これらの分析結果は報告書作成等に反映された。

（澤田正明・上山晶子）

①　保存処理業務実績

第１表　木製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
富田川河床遺跡発掘調査報告書Ⅲ（1983）				
富田川河床	18 図 - 6	柄杓	トレハロース含浸	処理済
富田川河床	18 図 - 7	櫛	トレハロース含浸	処理済
富田川河床	18 図 -10	椀	トレハロース含浸	処理済
富田川河床	26 図 - 9	椀	トレハロース含浸	処理済

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道９号（静間仁摩道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書２（2017）				
古屋敷（D区）	23 図 -12	杭か	トレハロース含浸	処理中
古屋敷（D区）	30 図 - 2	木棺墓・杭	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道９号（大田静間道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書２（2019）				
平ノ前	26 図 -13	柱根	トレハロース含浸	処理中
平ノ前	37 図 - 9	柱材	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
風土記の丘地内遺跡発掘調査報告書 25 史跡出雲国府跡 10（2019）				
出雲国府跡	59 図 - 1	柱根	トレハロース含浸	処理中
出雲国府跡	巻頭図版1（SB0 20BP10出土柱根）	柱根	トレハロース含浸	処理中
出雲国府跡	非掲載	柱根	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書２（2021）				
若宮谷	37 図 - 1	板状	トレハロース含浸	処理中
若宮谷	40 図 - 2	板状	トレハロース含浸	処理中
若宮谷	40 図 - 5	板状	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道９号（三隅益田道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書３（2020）				
上古市	49 図 - 4	建築材 / 扉	トレハロース含浸	処理済
上古市	50 図 - 3	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	54 図 - 4	建築材/壁か屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	55 図 - 1	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	55 図 - 2	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	55 図 - 3	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	55 図 - 4	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	57 図 - 5	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	60 図 - 1	建築材 / 柱	トレハロース含浸	処理中
上古市	60 図 - 2	建築材 / 柱	トレハロース含浸	処理中
上古市	60 図 - 3	建築材 / 柱	トレハロース含浸	処理中
上古市	60 図 - 4	建築材 / 桁	トレハロース含浸	処理中
上古市	61 図 - 1	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理中
上古市	63 図 - 1	建築材/壁か屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	63 図 - 2	建築材/床か梁	トレハロース含浸	処理中
上古市	65 図 - 1	建築材/壁か屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	65 図 - 2	建築材/壁か屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	65 図 - 3	建築材/壁か屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	66 図 - 2	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理中
上古市	67 図 - 1	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	70 図 - 1	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	74 図 - 7	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道９号（大田静間道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書５（2021）				
半明	14 図 - 3	曲物底板	トレハロース含浸	処理済

第２表　鉄製品

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
富田川河床遺跡発掘調査報告書Ⅲ（1983）						
富田川河床	7 図 - 6	柄鏡	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	
富田川河床	7 図 -13	煙管	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	
富田川河床	7 図 -14	煙管（吸口部）	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	
富田川河床	23 図 -14	鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	
富田川河床	46 図 - 6	茶釜	鉄	クリーニング・アクリル樹脂（パラロイド B72）塗布	処理済	
富田川河床	46 図 - 9	錠前	黄銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	
富田川河床	49 図 -10	鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	
富田川河床	65 図 - 1	飾り金具	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	
富田川河床	図版 29- 7	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	
富田川河床	図版 30- 1	冑覆輪	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	
富田川河床	図版 30- 2	切羽	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	
富田川河床	非掲載	天秤棒	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	
富田川河床	非掲載	鎚	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	
富田川河床	非掲載	甲冑部品	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
飯梨川河川改修に伴う富田川河床遺跡発掘調査報告書（4）（1984）						
富田川河床	119 図	火縄式鉄砲（銃身）	鉄	クリーニング・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）塗布	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
国道 431 号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 5（1997）						
本庄川流域条里	41 図 - 8	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	
本庄川流域条里	41 図 - 9	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	
本庄川流域条里	41 図 -10	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
一般国道９号江津道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 3（2000）						
神主城跡	27 図 -23	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
一般国道９号江津道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 4（2000）						
室崎商店裏	36 図 - 4	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
法吉団地建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（2002）						
角谷	351 図 -14	鉄砲玉	鉛	クリーニング・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
一般国道９号出雲バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 5（2004）						
中野清水	47 図 -74	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	
中野清水	47 図 -75	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 7（2005）						
北原本郷	97 図 -F70	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	再処理

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
一般国道９号（大田静間道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 5（2021）						
半明	31 図 -106	鉄鍋	鉄	クリーニング・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	
半明	31 図 -107	犂先	鉄	クリーニング・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	

遺跡名	点数	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（作成中）						
森原下ノ原（1 区）	58	甲冑部品・鉄鏃 等	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂（パラロイド NAD10）含浸	処理済	

第３表　石製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	備考
富田川河床遺跡発掘調査報告書Ⅲ（1983）					
富田川河床	47 図 - 6	石臼	クリーニング・石材強化剤（OM）・アクリル樹脂（パラロイド B72）塗布	処理済	
富田川河床	47 図 - 7	石臼	クリーニング・石材強化剤（OM）・アクリル樹脂（パラロイド B72）塗布・接合	処理済	

② 理化学分析

Ｘ線撮影は古代出雲歴史博物館において連携して行なった。

第４表　赤外線観察　※令和２年２月１日～令和３年１月 29 日までに依頼があったもの

実施日	依頼者	内容	点数	備考
12 月８日	島根県埋蔵文化財調査センター	試掘確認調査関連事業	1	

第５表　蛍光Ｘ線分析　※令和２年２月１日～令和３年１月 29 日までに依頼があったもの

実施日	依頼者	内容	点数	備考
２月 21 日	島根県埋蔵文化財調査センター	国ヶ峠遺跡出土古銭の成分分析	1	
６月４日	島根県古代文化センター	沖手遺跡出土湖州鏡の成分分析	1	
８月５日	島根県古代文化センター	沖手遺跡出土湖州鏡（益田市教育委員会所蔵）の成分分析	1	
９月 17 日	島根県埋蔵文化財調査センター	西川津遺跡出土鏃の成分分析	1	
９月 18 日	石見銀山世界遺産センター	石見銀山遺跡表採鉱石の成分分析	3	
11 月 13 日	島根県埋蔵文化財調査センター	半明遺跡出土赤彩土師器の赤色顔料同定と須恵器に付着した灰白色物質の成分分析	2	
11 月 13 日	島根県埋蔵文化財調査センター	森原下ノ原遺跡出土玉の成分分析	1	
12 月 16 日・17 日	島根県埋蔵文化財調査センター	森原下ノ原遺跡２区 遺構土壌の成分分析	4	
12 月 23 日	石見銀山世界遺産センター	佐毘売山神社所蔵の鉱石の成分分析	1	

6　試掘確認・分布調査

（1）令和２年度　試掘確認調査実績

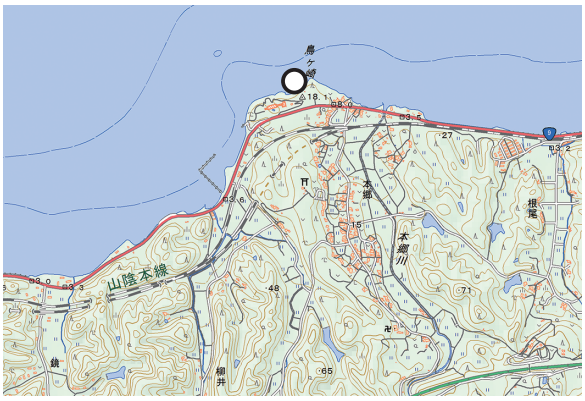
事業（予算）	事業名	名称等（試掘実施時）	所在地	現地調査期間	調査対象面積（㎡）	実施した調査（トレンチ面積合計）	調査概要	本調査の要否（本調査面積）	調査員
試掘確認調査（国事業）	一級河川江の川直轄河川改修事業予定地	森原下ノ原遺跡	江津市松川町地内	5月18日～5月20日	5,000	トレンチ4カ所（120㎡）	弥生土器、土師器、石器	要（3,000㎡）	深田 角田 園山
		川越・大貫地区	江津市桜江町川越・大貫地内	8月24日～9月2日		トレンチ11カ所（130㎡）	遺構・遺物なし	否	深田 大庭
		和田・瀬尻・久料谷地区	江津市桜江町和田、邑智郡川本町瀬尻・久料谷地内	11月24日～12月2日		トレンチ7カ所（53.24㎡）	遺構・遺物なし	否	林 鈴木
	一般国道9号（福光浅利道路）改築事業予定地	要注意箇所7・11・13・14・18・25	江津市黒松町、後地町地内	6月1日～6月11日	41,570	トレンチ17カ所（133㎡）	土師器、須恵器	要（1,300㎡）	深田 角田 園山
		要注意箇所2・3・5・6・12・14・17	江津市黒松町、後地町地内	9月24日～10月14日	59,050	トレンチ21カ所（約174㎡）	遺構・遺物なし	否	深田 大庭 宮本 鈴木
	斐伊川水系大橋川改修事業予定地	朝酌矢田地区	松江市朝酌町地内	10月13日	1,128	トレンチ3カ所（22㎡）	遺構なし 木製品	否	岩崎 廣江 阿部
		白潟地区	松江市魚町、白潟本町、和多見町地内	11月9日～11月16日	5,180	トレンチ5カ所（28㎡）	石敷き遺構、土坑、陶磁器	要（5,180㎡）	深田 角田 守岡 宮本
	国営土地改良事業（宍道湖西岸地区国富・中村）予定地	源代遺跡、要注意箇所1・4・6・7	出雲市国富町地内	7月27日～8月4日	5,650	トレンチ4カ所（63㎡）	遺構・遺物なし ※地層の年代測定を実施（別項参照）	否	深田 松山
試掘確認調査（民間）	知井宮連絡線新設工事予定地	要注意箇所	飯石郡飯南町下来島地内	11月16日～11月18日	1,128	トレンチ1カ所（6㎡）	遺構・遺物なし	否	林 鈴木

（2）令和２年度　分布調査実績

事業（予算）	計画事業名	所在地	調査期間	市町村協力など
分布調査（国事業）	一級河川江の川直轄河川改修事業（田津地区外）予定地内	江津市桜江町・松川町・川平町、邑智郡川本町・美郷町	令和3年2月24日～26日、3月9日～10日	江津市、川本町、美郷町
分布調査（民間）	知井宮連絡線新設工事予定地	出雲市佐田町・乙立町・芦渡町、雲南市掛合町、飯石郡飯南町	令和2年4月24日、5月12日、5月29日、10月26日	出雲市、雲南市、飯南町

（3）令和２年度　鳥ヶ崎遺跡工事立会

立会の概要　鳥ヶ崎遺跡は松江市玉湯町の宍道湖に突き出した岬の先端部に位置する。国土交通省出雲河川事務所による宍道湖浄化事業として、宍道湖に向けて２基の突堤を造り、その間を覆砂する工事が計画されたため、突堤建設予定地について松江市まちづくり文化財課とともに工事立会を行った。それぞれの突堤予定地の先端付近、中程、付け根付近の３箇所の土砂を重機によって採取し、湖底の石を採集するとともに、土砂中に含まれる遺物を採取した。この工事立会は、東側の１号突堤については令和２年11月11日に、西側の２号突堤は12月15日に実施した。



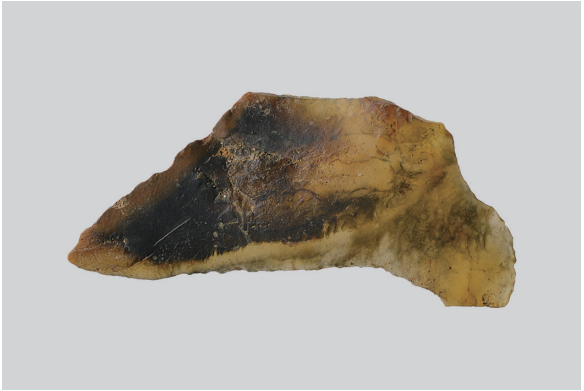
鳥ヶ崎遺跡位置図

１号突堤付近では、採取した土砂中に劣化した安山岩が多く含まれていたが、２号突堤周辺には堅い円礫が多く、劣化した安山岩がほとんど見られない。２号突堤付近ではエビ漁を行うために円礫を畤いたと言う情報があり、堅い円礫は近代以降に持ち込まれたものである可能性が高い。一方、１号突堤周辺の状況は本来の礫石構成に近いか。

遺物の概要　１号突堤予定地中程で採集した石の中にはメノウ製剥片が、また、２号突堤の付け根近くから採取した石には玉髄製の石器が含まれていた。この他にも、水晶など石器石材となり得る石をいくつか採集した。

剥片は幅55㎜、長さ21㎜、厚さ３㎜で透明度の高いメノウ製。細かい加工は見られない。もう１点の石器は長さ46㎜、幅53㎜、厚さ20㎜で、暗橙色を呈す玉随製。縁辺に急角度の剥離面が連続する。背面が自然面だがスクレーパーとしておく。いずれも、後期旧石器時代から縄文時代のものと考えられる。

まとめ　今回の立会により石器が採集され、鳥ヶ崎遺跡の石器・石材の広がりが宍道湖水中にも展開している事が判明した。鳥ヶ崎の岬先端から海食によって水中に崩落していると思われ、宍道湖水中にも多くの遺物が残存していることをうかがわせる。また、今回の工事立会は、島根県内では例の少ない水中での埋蔵文化財調査であり、貴重な事例となった。　（林　健亮）


メノウ製剥片

玉髄製スクレーパー

（4）国営土地改良事業にかかる出雲市（旧平田市）国富町源代遺跡での泥炭層の確認とその年代

深田　浩
渡辺正巳（文化財調査コンサルタント株式会社）

1　はじめに

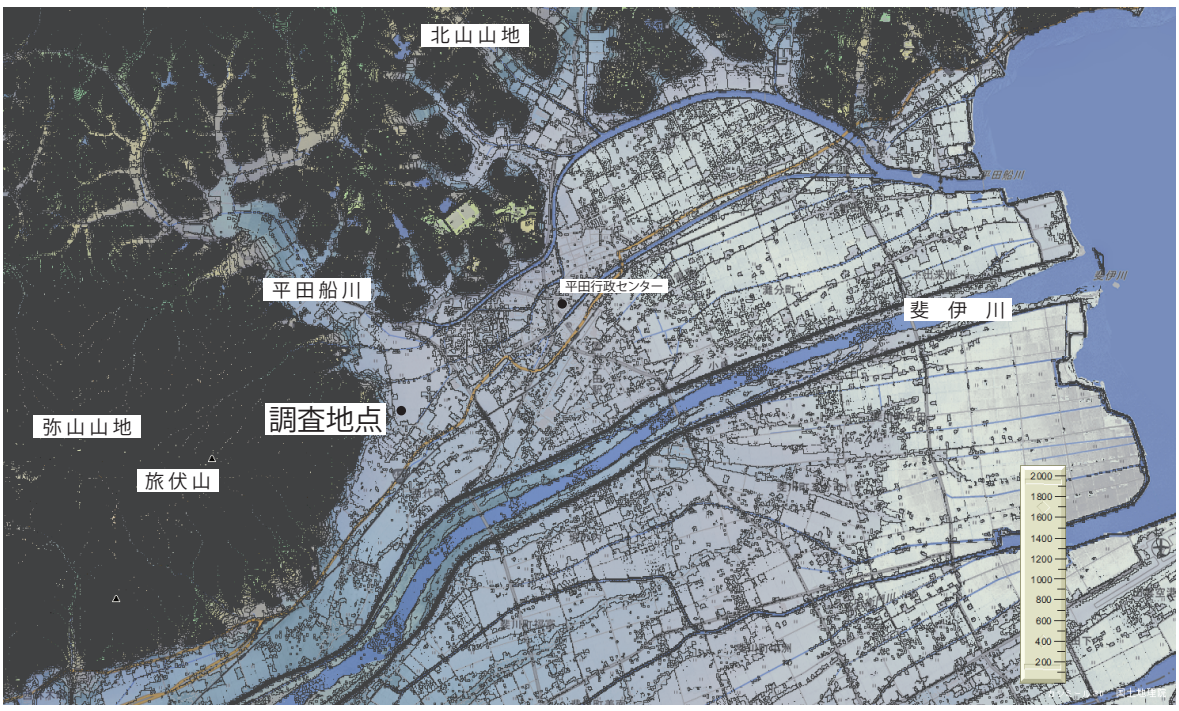
平田平野（斐伊川と北山山地、弥山山地に挟まれた地域）西端の国富・中村地区（出雲市（旧平田市）国富町源代遺跡およびその周辺）での圃場整備事業にかかる試掘調査において、幾つかのトレンチ下部から泥炭層（通称：オモカス層）が検出された。

調査地近辺の地形図（第１図）を概観すると、現在の斐伊川を中心に河川（堤防）跡と考えられる微高地が幾筋も認められる。これらの微高地の多くは、現在も用悪水路として機能している斐伊川の支流や、既に廃川となった支流と考えられる。また、調査地が平田船川と斐伊川の成す扇状地に挟まれた後背湿地に立地することが分かる（第２図）。

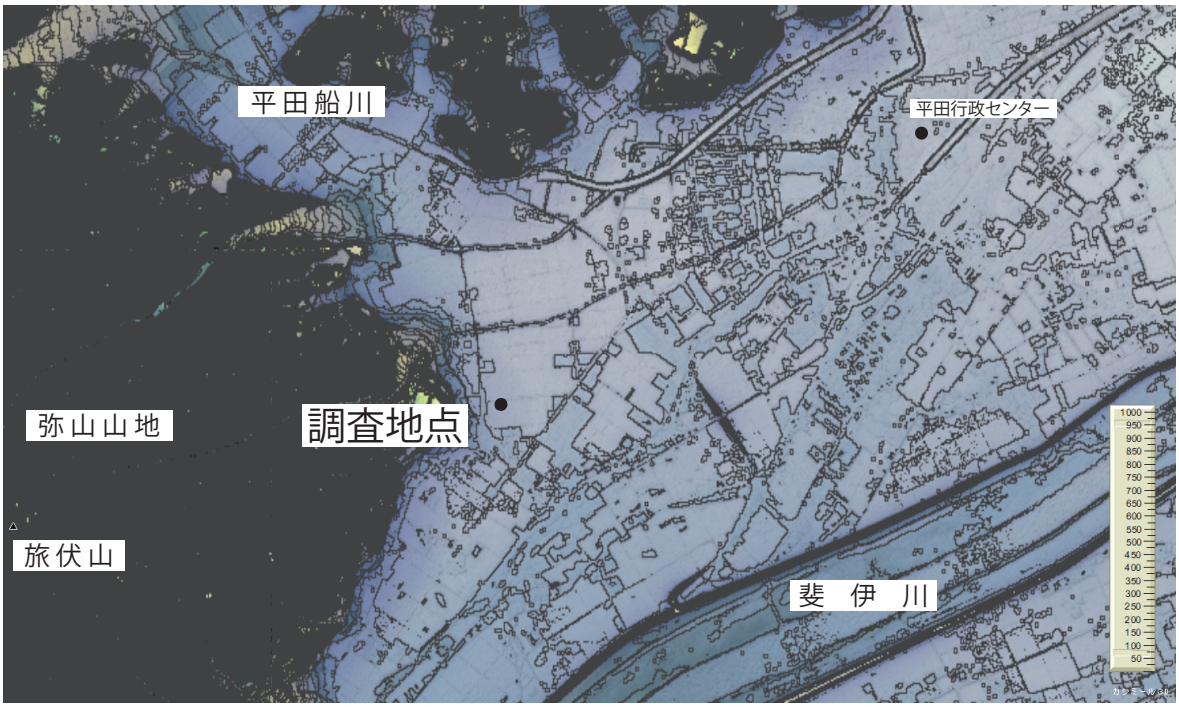
泥炭層の堆積には幾つかの要因があるが、調査地近辺においてはその要因の一つとして、東流した斐伊川（あるいは支流）の後背湿地であった時期を示唆するものと考えられる。このことから今回検出された泥炭層の堆積年代を明らかにすることは、斐伊川、神戸川の沖積作用によって形成された出雲平野の発達過程を明らかにするために重要と考え、AMS 年代測定を実施した。

2　分析試料について

第３図に試掘調査を行ったトレンチの位置を示す。、トレンチ１の T.P.-1.6m、トレンチ４の T.P.-0.6m、トレンチ７の T.P. ± 0m で泥炭層：黒褐色腐植土層（オモカス層）を確認した。また、年代測定試料はトレンチ４の９層（第４図）より採取した。



第１図　試料採取地点（出雲平野北東部１m 等高線図）



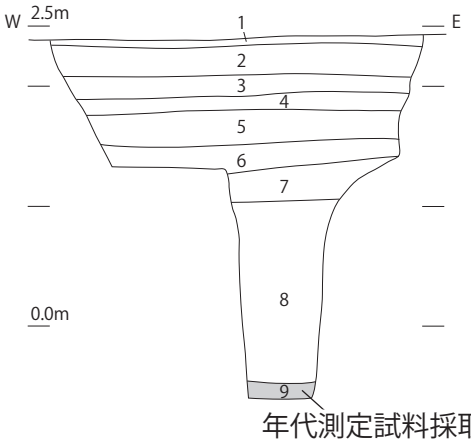
第２図　試料採取地点（出雲平野北東部１m 等高線図：拡大）

第３図　泥炭確認トレンチの配置

3　AMS 年代測定方法

第 1 表に分析試料の概要、前処理方法、年代測定結果を示す。

前処理後、二酸化炭素を生成、精製し、グラファイトに調整した。^{14}C 濃度の測定にはタンデム型イオン加速器を用い、半減期：5,568 年で年代計算を行った。暦年代較正には OxCal ver.4.4（Bronk Ramsey, 2009）を用い、INTCAL20（Reimer et al., 2020）を利用した。



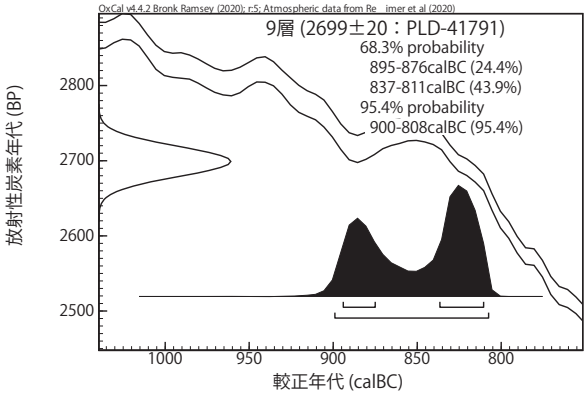
1. 明黄褐色粘質土(2.5Y6/8)耕作土、しまりゆるい
2. 緑灰色粘土(5G6/1)水田床土、粘性強い
3. 灰色粘土(7.5Y6/1)固くしまり、細かな砂粒を含む
4. 灰色粘質土(7.5Y5/1)砂粒を多く含む
5. 灰オリーブ砂層(5Y4/2)白色砂や灰色砂・黄色粘土ブロックが混在する
6. 灰色粘土(5Y6/1)しまりゆるい
7. 灰白色砂(N7/1)細かな砂粒の層、小木片まばらに含む(斐伊川の洪水砂か)
8. 緑灰色粘土(10GY6/1)固くしまり、粘性強い
9. 黒褐色腐植土(2.5Y3/1)有機物を多量に含む(オモカス層)

第４図　試料採取位置断面図

4　AMS 年代測定結果

暦年較正結果（年代測定結果）を第 1 表および第５図に示す。

第５図では確率分布とσ、2σの較正範囲を示し、σ、2σの年代値を表記している。第４表には試料ごとに試料の詳細、前処理方法、δ^{13}C 値と測定年代、暦年較正年代（σ、2σ）などを示している。



第５図　暦年較正結果

5　まとめ

前述のように、調査地は平田船川と斐伊川の成す扇状地に挟まれた後背湿地に立地することが分かる。一般に泥炭層の堆積する場所の一つに後背湿地があげられる。現在の地形図から読み取れる調査地の立地は、正に泥炭が堆積する場所である。得られた 900 ～ 808 cal BC は弥生時代早期（あるいは縄文時代晩期）を示すが、およそ 3,000 年前の弥生時代早期に現在と同様の地形環境が既に存在したとも考えにくく、現在とは異なる地形環境下で堆積したと考えられる。

宍道湖周辺地域の古地理図が現在までに幾つか作成されてきているが、斐川平野内中心部のボーリングデータに基づくものであった。また、平田平野では具体的な地質データが知られておらず、曖昧に描かれてきた。今回、平田平野内での泥炭の堆積時期が明らかになったことで、当該地域の古地形変遷、斐伊川の沖積作用と宍道湖の形成についての貴重な資料となることが期待される。

地区	出土地点（遺構ほか）	状況	重量(g)	前処理	δ^{13}C (‰)	δ^{13}C補正無年代 (yrBP±1σ)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)
トレンチ４	９層	泥炭	7.062	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1.0N,塩酸:1.2N)	-25.37±0.17	2706±21	2699±20	2700±20

^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲		測定番号
	2σ暦年代範囲	
895- 876 cal BC (24.4%) 837- 811 cal BC (43.9%)	900- 808 cal BC (95.4%)	PLD-41791

第１表　年代測定結果

引用文献

Bronk Ramsey, C. (2009). Bayesian analysis of radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360.

Reimer, P., Austin, W., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R., Friedrich, M., Grootes, P., Guilderson, T., Hajdas, I., Heaton, T., Hogg, A., Hughen, K., Kromer, B., Manning, S., Muscheler, R., Palmer, J., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R., Richards, D., Scott, E., Southon, J., Turney, C., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A., & Talamo, S. (2020). The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0–55 cal kBP). Radiocarbon, 62.

Ⅷ　県内発掘調査一覧

市町村など（令和２年 12 月 28 日までに通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機　等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積（㎡）	発掘予定期間	
1	生産遺跡	本舩木窯跡	松江市玉湯町布志名 442 － 4	2.3. 31 ま文埋第 561 号	松江市長　松浦正敬	徳永桃代	221	2.4. 7 ～ 2.5. 25	その他の開発（崖崩れ対策擁壁工事）
2	散布地	御津西ノ谷遺跡	松江市鹿島町御津字西ノ谷 895 － 1	2.4. 1 ま文埋第 308 号	松江市長　松浦正敬	川西　学	25	2.4. 6 ～ 2.4. 15	その他の建物（携帯電話基地局）
3	散布地 集落跡	白枝本郷遺跡	出雲市白枝町 806 － 1 外	2.4. 1 文財第 3 号	出雲市教育委員会教育長　槇野信幸	須賀照隆	18	2.4. 9 ～ 2.4. 9	集合住宅
4	散布地	寿昌寺西遺跡	出雲市塩冶神前 6 丁目 41 － 1	2.4. 7 文財第 14 号	出雲市教育委員会教育長　槇野信幸	石原　聡	6	2.4. 8 ～ 2.4. 8	集合住宅
5	城館跡	国府尾城跡	隠岐郡隠岐の島町港町大津ノ二 13 － 1、13 － 24	2.4. 13 隠教社第 3 号	隠岐の島町教育委員会教育長　野津浩一	野津哲志	12	2.4. 20 ～ 2.4. 30	農業基盤整備事業（農道等を含む）
6	集落跡 城館跡	小山遺跡	出雲市小山町 86 外	2.4. 20 文財第 50 号	出雲市教育委員会教育長　槇野信幸	須賀照隆	14	2.4. 21 ～ 2.4. 21	集合住宅
7	散布地	団原遺跡	松江市大庭町 58 － 3 外	2.4. 20 ま文埋第 64 号	松江市長　松浦正敬	徳永　隆	70	2.4. 21 ～ 2.4. 28	個人受託
8	古墳	櫨岡古墳群	松江市東津田町字櫨岡 2022 外	2.4. 20 ま文埋第 61 号	松江市長　松浦正敬	廣濱貴子	835	2.4. 22 ～ 12.10.31	宅地造成
9	近世街道	湯町八川遺跡	松江市玉湯町大谷 1614－2、230－1	2.5. 18 ま文埋第 127 号	松江市長　松浦正敬	川西　学	6	2.5. 19 ～ 2.5. 21	道路
10	生産遺跡	金屋奥遺跡	奥出雲町金屋奥・金屋小原外 2140、2141	2.5. 13 奥教魅第 129 号	奥出雲町教育員会教育長　塔村俊介	坂本諭司	228	2.5. 18 ～ 2.7. 3	ダム
11	散布地	法吉遺跡	松江市法吉町 591 －47、春日町 8－1	2.5. 21 ま文埋第 134 号	松江市長　松浦正敬	徳永　隆	9	2.5. 22 ～ 2.5. 22	河川
12	城館跡	富田城跡	安来市広瀬町富田 538	2.4. 10 安文化第9－2号	安来市教育委員会教育長　勝部慎哉	内田雅巳	216	2.5. 11 ～ 3.3. 31	遺跡整備
13	散布地	源代遺跡	出雲市国富町 1371 － 1 外	2.5. 25 文財第 129 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	450	2.6. 8 ～ 2.7. 上旬	学校建設
14	集落跡	神後田遺跡	松江市浜乃木 5 丁目 1194、2808－1	2.5. 29 ま文埋第 158 号	松江市長　松浦正敬	三宅和子	23	2.6. 1 ～ 2.7. 22	保存目的の範囲内容確認調査
15	集落跡 貝塚 自然河道	矢野遺跡	出雲市矢野町 688 － 1、688 － 2	2.6. 3 文財第 146 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	石原　聡	18	2.6. 12 ～ 2.6. 12	集合住宅
16	散布地	新庄寺ノ前遺跡	松江市新庄町 525 外	2.6. 8 ま文埋第 181 号	松江市長　松浦正敬	徳永桃代	304	2.6. 22 ～ 2.9. 24	農業基盤整備事業（農道等を含む）
17	散布地 その他の墓	崎田遺跡	松江市東出雲町揖屋 3419 － 1 外	2.5. 26 ま文埋第 131 号	松江市長　松浦正敬	川上昭一	18	2.6. 22 ～ 2.7. 17	道路
18	集落跡 城館跡 自然河道	蔵小路西遺跡	出雲市渡橋町 233-1 外	2.6. 8 文財第 161 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	石原　聡	12	2.6. 19 ～ 2.6. 19	集合住宅
19	散布地 集落跡	大塚遺跡	出雲市大塚町 1317-3 外	2.6. 23 文財第 188 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	石原　聡	250	2.7. 1 ～ 2.8. 31	集合住宅
20	古墳	常楽寺柿木田古墳群	出雲市湖陵町常楽寺	R2.7.3 文財第 232 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	幡中光輔	100	2.7. 13 ～ 2.7. 31	道路
21	散布地	宇賀遺跡	松江市浜乃木 2 丁目 377-1、377-3	R2.7.22 ま文埋第 143 号	松江市長　松浦正敬	徳永　隆	109	2.7. 27 ～ 2.8. 4	宅地造成
22	散布地	修理免本郷遺跡	出雲市大社町修理免字本郷 1484-2、1498-1	R2.6.18 文財第 179 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	石原　聡	12	2.6. 25 ～ 2.6. 25	個人住宅

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機　等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積（㎡）	発掘予定期間	
23	散布地	崎田遺跡	東出雲町揖屋 3419-5、3422-15	R2.6.29 ま文埋第 221 号	松江市長　松浦正敬	徳永　隆	20	2.6. 29 ～ 2.7. 10	道路
24	生産遺跡	小松古窯跡群	松江市宍道町西来待 113-14	R2.7.14 ま文埋第 246 号	松江市長　松浦正敬	川上昭一	12	2.7. 15 ～ 2.7. 31	その他の建物（擁壁設置）
25	散布地	宇賀遺跡	松江市乃木 2 丁目 377-1、377-3	R2.7.22 ま文埋第 143 号	松江市長　松浦正敬	徳永　隆	109	2.7. 27 ～ 2.8. 4	宅地造成
26	集落跡	佐太前遺跡・佐太神社神宮寺跡	松江市鹿島町佐陀宮内 73	R2.7.22 ま文埋第 267 号	松江市長　松浦正敬	川西　学	170	2.8. 3 ～ 2.8. 7	その他の建物（神社・舞殿）
27	集落跡	田畑遺跡	出雲市古志町 1060 － 1 外	R2.8.4 文財第 310 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	12	2.8. 18 ～ 2.8. 18	宅地造成
28	城下町遺跡	松江城下町遺跡（母衣町 50 外）	松江市母衣町 50 外	R2.8.12 ま文埋第 295 号	松江市長　松浦正敬	小山泰生	2,718.2	2.8. 17 ～ 3.3. 26	その他の建物（松江法務総合庁舎）
29	散布地	渡橋遺跡	出雲市渡橋町 200 － 5	R2.8.7 文財第 320 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	石原　聡	12	2.8. 17 ～ 2.8. 17	個人住宅
30	社寺跡 生産遺跡	出雲国分尼寺出 雲国分寺瓦窯跡	松江市竹矢町 296-4 外	R2.8.27 ま文埋第 307 号	松江市長　松浦正敬	川上昭一	13	2.9. 1 ～ 2.9. 11	その他の建物（擁壁設置）
31	古墳	スクモ塚古墳	益田市久城町 543-5	R2.9.2 益教文第 114 号	益田市教育委員会教育長　柳井秀雄	林　弘幸	17	2.10. 1 ～ 2.10. 30	個人住宅
32	集落跡	半田浜遺跡	江津市二宮町神主 1820-25 地先（至）1820-27 地先	R2.9.4 江教社第 222 号	江津市教育委員会教育長　小笠原　隆	持田直人	400	2.9. 8 ～ 2.9. 18	土砂採取
33	集落跡	古八幡付近遺跡	（自）江津市敬川町 404-1（至）400-10	R2.9.10 江教社第 237 号	江津市教育委員会教育長　小笠原　隆	伊藤　創	2,235.2	2.9. 14 ～ 2.9. 25	その他開発（駐車場整備）
34	城下町遺跡	松江城下町遺跡（雑賀町二丁目 345 番）	松江市雑賀町二丁目 345	R2.9.15 ま文埋第 345 号	松江市長　松浦正敬	徳永　隆	120.88	2.9. 16 ～ 2.9. 25	集合住宅
35	散布地	栗林 A 遺跡	大田市久手町刺鹿字諸友才ノ峠 2836 他 1 筆	R2.7.10 大教石第 617 号	大田市教育委員会教育長　船木三紀夫	中田健一	220	2.7. 13 ～ 2.9. 30	道路
36	集落跡	西津田岡遺跡	松江市西津田三丁目１５４５	R2.9.29 ま文埋第 355 号	松江市長　松浦正敬	川西　学	5	2.10. 1 ～ 2.10. 1	個人住宅
37	散布地	稲岡遺跡	出雲市高岡町 1308-1 外	R2.9.15 文財第 435 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	30	2.9. 24 ～ 2.9. 24	宅地造成
38	集落跡	渡橋沖遺跡	出雲市渡橋町 911-3、913-1、914、915、916-3	R2.9.25 文財第 449 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	18	2.10. 6 ～ 2.10. 6	店舗
39	散布地	修理免本郷遺跡	出雲市大社町修理免 1515-1	R2.10.7 文財第 476 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	6	2.10. 14 ～ 2.10. 14	個人住宅
40	散布地	立原遺跡	雲南市木次町宇谷地内	R2.10.8 雲教文第 147 号	雲南市教育委員会教育長　影山　明	髙橋誠二	30	2.10. 20 ～ 2.10. 21	道路
41	集落跡	大庭小原遺跡	松江市大庭町小原 1102-2 外	R2.10.5 ま文埋第 369 号	松江市長　松浦正敬	江川幸子	1,592	2.10. 19 ～ 3.3. 12	宅地造成
42	散布地	松本遺跡	松江市乃木福富町 451 外	R2.10.5 ま文埋第 268 号	松江市長　松浦正敬	川上昭一	40.5	2.10. 6 ～ 2.12. 11	その他開発（土地売却に伴う事前調査）
43	散布地 集落跡	中上Ⅱ遺跡	出雲市東神西町 443-3	R2.10.12 文財第 488 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	6	2.10. 20 ～ 2.10. 20	河川
44	生産遺跡	縄手製錬遺跡	邑智郡邑南町久喜 1839 他	R2.10.13 邑教生第 70 号	邑南町教育委員会教育長　土居達也	大野芳典	120	2.10. 20 ～ 2.12.30	学術研究
45	条里制	本庄川流域条里制遺跡	松江市新庄町 304 外	R2.10.20 ま文埋第 391 号	松江市長　松浦正敬	徳永桃代	723	2.10. 21 ～ 2.12. 23	農業基盤整備事業（農道等を含む）
46	集落跡	下古志遺跡	出雲市下古志町 751-6 外	R2.10.27 文財第 516 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	石原　聡	30	2.11. 4 ～ 2.11. 30	その他の建物（社会福祉施設）
47	散布地	片山遺跡	松江市上大野町大字片山 43 外 4 筆	R2.11.10 ま文埋第 418 号	松江市長　松浦正敬	川西　学	29	2.11. 11 ～ 2.11. 25	農業基盤整備事業（農道等を含む）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機　等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積（㎡）	発掘予定期間	
48	散布地 貝塚	南原遺跡	出雲市大社町北荒木 512-7 外	R2.11.9 文財第 538 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	12	2.11. 16 ～ 2.11. 16	その他の開発 （分譲地整備）
49	社寺跡	史跡鰐淵寺境内	出雲市別所町 148	R 2.12. 7 文財第 593 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	景山このみ	1.8	2.12. 15 ～ 2.12. 17	遺構整備
50	集落跡	半田浜遺跡	江津市二宮町神主 1820-25 地先（至）同　1820-27 地先	R2.12.18 江教社第 342 号	江津市教育委員会教育長　小笠原　隆	伊藤　創	400	3.1. 18 ～ 3.2. 19	土砂採取
51	散布地	鈴見 B 遺跡	大田市久手町波根西字上ケ 1209	R2.10.5 大教石第 772 号	大田市教育委員会教育長　船木三紀夫	野島智実	4	2.10. 8 ～ 2.10. 9	その他開発 （携帯電話鉄塔）
52	集落跡 官衙跡	古志本郷遺跡	出雲市古志町 983 外	R2.12.8 文財第 600 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	36	2.12. 17 ～ 2.12. 17	集合住宅
53	集落跡	宮松遺跡	出雲市上塩冶町 4035	R2.12.21 文財第 625 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	12	3.1. 5 ～ 3.1. 5	個人住宅
54	集落跡 官衙跡	古志本郷遺跡	出雲市古志町 996-1 外	R3.1.12 文財第 658 号	出雲市教育委員会教育長　杉谷　学	須賀照隆	18	3.1. 19 ～ 3.1. 19	集合住宅
55	社寺跡	山代郷南新造院跡	松江市山代町 175 他	R3.1.19 ま文埋第 534 号	松江市長　松浦正敬	徳永　隆	9	3.1. 20 ～ 3.1. 22	保存目的の範囲内容確認調査

県（令和２年 12 月 28 日までに通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機　等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積（㎡）	発掘予定期間	
1	散布地 集落跡	半明遺跡	大田市長久町長久字半明イ５－４外	2.4. 8 島教埋第 40 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	大庭俊次	1,000	2.5. 7 ～ 2.8. 31	道路
2	集落跡	森原下ノ原遺跡	江津市松川町八神 247 外	2.4. 7 島教埋第 26 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	真木大空	2,580	2.5. 11 ～ 2.12. 25	河川
3	その他の遺跡（道路）	高丸遺跡	江津市黒松町 392－３ほか	30.4. 17 島教埋第 27 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	中川　寧	2,200	2.6. 1 ～ 2.12. 25	道路
4	散布地 集落跡	上ノ谷遺跡	飯石郡飯南町下来島 3234－１外	2.4. 22 島教埋第 72 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	今福拓哉	2,500	2.5. 12 ～ 2.8. 31	その他の建物
5	散布地	小金川Ｂ遺跡	大田市静間町字小鯛ヶ原 791－１	2.4. 28 島教埋第 86 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	宮本正保	800	2.5. 20 ～ 2.8. 31	道路・その他開発
6	古墳	山代原古墳	松江市山代町560、561、562－１	島教埋第 75 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	岩橋孝典	35	2.5. 7 ～ 2.7. 31	保存目的の範囲内容確認調査
7	集落跡	森原下ノ原遺跡	江津市松川町八神 248 外	2.5. 8 島教埋第 100 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	深田　浩	40	2.5. 18 ～ 2.5. 29	河川
8	散布地	朝酌矢田Ⅱ遺跡	松江市朝酌町 1012－３	1.7. 24 島教埋第 219 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	岩崎孝平	1,400	2.6. 1 ～ 2.11. 30	河川
9	散布地	源代遺跡	出雲市国富町 1023 ほか	1.9. 5 島教埋第 258 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	深田　浩	36	2.7. 27 ～ 2.8. 7	農業基盤整備事業

Ⅸ　刊行物

1　ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）

名称	発行月	部数	内容
ドキ土器まいぶん No.67	令和３年３月	8,200	出雲地域の古代遺跡　～『出雲国風土記』登場地の発掘調査～

2　報告書

報告書名	部数	編集担当者	遺跡の概要
下黒田Ⅱ遺跡　国道 432 号大庭バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書３	279	中川　寧	下黒田Ⅱ遺跡は松江市大庭町に所在する。茶臼山南西麓の標高約 22 m前後の台地上に位置する。室町時代の溝を確認した。溝はほぼ南北にのび、途中に幅約１mの陸橋状に掘り残した部分があり、集落の内外をつなぐ通路として使われたと考えられる。また、江戸時代初めの土坑から陶器の皿が２点出土した。このほか、掘立柱建物跡を３棟確認した。本遺跡の周囲には川原宮Ⅲ遺跡や黒田館跡、下黒田遺跡など溝で区画した屋敷地が複数存在することになり、中世の大庭地区の様子を考える上で貴重な調査例となった。
森原神田川遺跡大津地区　一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財調査報告書２	290	深田　浩	江の川右岸の後背低地から、近世初頭～前期に開発・営農されたとみられる水田跡を上下２層で検出し、自然堤防上では同時期とみられる畠跡を検出した。水田面からは、直線状に延びる畦畔や無数の人や牛の足跡、犂を用いた水田耕作の痕跡が明らかになるなど、当時の農耕の様子および土地利用、農村景観の復元や、石見銀山最盛期における江の川沿岸部の新田開発の実態を検討する上で貴重な成果となった。また、大津という字名や、遺跡内から緑釉洗など中世の中国産貿易陶磁器類が出土することから、周辺部に川湊を支配した中世豪族の居館跡が存在する可能性も考慮される。
森原神田川遺跡下ノ原地区　一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書３	276	宮本正保	森原神田川遺跡下ノ原地区は、江の川下流域の氾濫原に位置する。氾濫原は縄文時代にはある程度堆積が進んでいたと考えられ、突帯文期には遺跡周辺でイネの栽培も示唆される。また、古墳時代中期～後期の江の川とみられる大形の河道から、祭祀関連遺物が大量に出土した。河道の近接地で海上交通に関わる祭祀を行った可能性がある。また、中世～近世前半には、石組をもつ水路が設けられており、灌漑用水路とみられる。
半明遺跡　一般国道９号（大田静間道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書５	280	角田徳幸 大庭俊次	半明遺跡は、大田市内の古代山陰道に関わる遺跡の結線付近にある。墨書土器、刻書土器、転用硯など文字資料や、越州窯系青磁など貿易陶磁器が出土し、官衙的様相を呈する。 水路や、鋳鉄製犂先が出土するなど、平安時代後期に先進的な農耕技術が導入されていたことを示す貴重な資料が得られた。
小金川Ｂ遺跡　一般国道９号（静間仁摩道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書９	277	宮本正保	小金川Ｂ遺跡では、古代～中世のピット・土坑・自然流路を確認したが、性格は不明である。遺構検出面の上位には弥生時代～中世の遺物包含層がのる。包含層の遺物は奈良時代後半～平安時代の須恵器が多くを占め、鉄鉢形土器・灰釉陶器・転用硯も確認した。遺構面を形成する層も弥生時代～平安時代の遺物包含層で、灰釉陶器が出土している。灰釉陶器はいずれも猿投窯産で、時期は９世紀後半と考えられるが、仏器とみられるものがあり、鉄鉢形土器とあわせて考えると、周辺に仏教関連施設の存在が想定される。
国ヶ峠遺跡　一般国道９号（三隅益田道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書４	277	東森　晋 久保田一郎	現在の里道とは異なる位置で中世前期と推定される道路遺構や、祭祀に伴う可能性のある中世初期の石積遺構を検出した。近世には、現存する里道に付け替わっており、この道に伴う地蔵を安置した石組遺構の調査も行った。
普源田砦跡　一般国道９号（三隅益田道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書５	281	東森　晋	普源田砦跡では、戦国時代の山城のほぼ全域を発掘調査した。掘立柱建物、竪穴建物、堀切、竪堀などの遺構を多数確認した。遺物では、日常生活に関わる陶磁器類の他、茶道具、硯などが出土した。
若宮谷遺跡　シコノ谷遺跡　斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書２	281	廣江耕史	若宮谷遺跡では、谷底から縄文時代から弥生時代の土器、石器が出土し、丘陵斜面から竪穴建物を検出した。室町時代の掘立柱建物の周囲から貝塚を検出した。長期にわたり集落が存在していたことが確認された。 シコノ谷遺跡では、大橋川の北側に伸びる谷の集落が土石流により壊され、多くの遺物が礫層中から出土している。縄文時代早期を中心として晩期までの土器、石器と共にサメの歯が出土し、当時の中海でサメ漁がおこなわれていたことが想定される。隠岐産の黒曜石、石器も多数出土し、日本海を隔てた隠岐島から石器の材料を獲得していた様子がうかがわれる。

3　パンフレット

名称	部数	内容
平ノ前遺跡	3,000	弥生時代の灌漑用水路や古墳時代の祭祀が行われた水路が確認された大田市に所在する平ノ前遺跡について、遺跡の特徴を分かりやすく解説したパンフレット。A4 カラー８頁。

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報 29
—令和２年度—

発行　2021 年３月
編集　島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
〒690-0131　松江市打出町 33 番地
【電話】0852-36-8608
【E メール】maibun@pref.shimane.lg.jp
【ホームページ】https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/